

F2A55-M LK2 Series

- *F2A55-M LK2*
- *F2A55-M LK2 PLUS*



Motherboard

Copyright © 2012 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容に変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product may contain copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL") and under the Lesser General Public License Version ("LGPL"). The GPL and LGPL licensed code in this product is distributed without any warranty. Copies of these licenses are included in this product.

You may obtain the complete corresponding source code (as defined in the GPL) for the GPL Software, and/or the complete corresponding source code of the LGPL Software (with the complete machine-readable "work that uses the Library") for a period of three years after our last shipment of the product including the GPL Software and/or LGPL Software, which will be no earlier than December 1, 2011, either (1) for free by downloading it from <http://support.asus.com/download>;

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.
Legal Compliance Dept.
15 Li Te Rd,
Beitou, Taipei 112
Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address gpl@asus.com, stating the product and describing the problem (please do NOT send large attachments such as source code archives etc to this email address).

もくじ

安全上のご注意.....	vi
このマニュアルについて.....	vii
F2A55-M LK2 Series 仕様一覧.....	ix
パッケージの内容.....	xi

Chapter 1 製品の概要

製品の概要.....	1-1
1.1 独自機能.....	1-1
1.1.1 製品の特長.....	1-1
1.1.2 ASUS DIGI+ VRM.....	1-2
1.1.3 ASUSの独自機能.....	1-2
1.2 始める前に.....	1-4
1.3 マザーボードの概要.....	1-5
1.3.1 設置方向.....	1-5
1.3.2 ネジ穴.....	1-5
1.3.3 マザーボードのレイアウト.....	1-6
1.3.4 レイアウトの内容.....	1-7
1.4 プロセッサ.....	1-7
1.4.1 プロセッサを取り付ける.....	1-8
1.4.2 プロセッサクーラーを取り付ける.....	1-9
1.5 システムメモリー.....	1-11
1.5.1 概要.....	1-11
1.5.2 メモリー構成.....	1-12
1.5.3 メモリーを取り付ける.....	1-16
1.6 拡張スロット.....	1-17
1.6.1 拡張カードを取り付ける.....	1-17
1.6.2 拡張カードを設定する.....	1-17
1.6.3 PCI スロット.....	1-17
1.6.4 PCI Express 2.0 x1 スロット.....	1-17
1.6.5 PCI Express 2.0 x16 スロット.....	1-17
1.7 ジャンパ.....	1-19
1.8 コネクター.....	1-21
1.8.1 パックパネルコネクター.....	1-21
1.8.2 内部コネクター.....	1-22
1.9 ソフトウェア.....	1-28
1.9.1 OSをインストールする.....	1-28
1.9.2 サポートDVD情報.....	1-28

Chapter 2 UEFI BIOS設定

2.1	UEFI BIOSの管理と設定	2-1
2.1.1	ASUS Update	2-1
2.1.2	ASUS EZ Flash 2 Utility	2-2
2.1.3	ASUS CrashFree BIOS 3.....	2-3
2.1.4	ASUS BIOS Updater	2-4
2.2	UEFI BIOS Utility	2-6
2.3	メインメニュー	2-10
2.3.1	System Language [English]	2-10
2.3.2	System Date [Day xx/xx/xxxx]	2-10
2.3.3	System Time [xx:xx:xx].....	2-10
2.3.4	Security.....	2-10
2.4	Ai Tweaker メニュー	2-12
2.4.1	Ai Overclock Tuner [Auto]	2-13
2.4.2	Memory Frequency [Auto].....	2-13
2.4.3	APU Multiplier [Auto]	2-13
2.4.4	NB Frequency [Auto].....	2-13
2.4.5	EPU Power Saving Mode [Disabled]	2-13
2.4.6	DRAM Timing Control.....	2-14
2.4.7	CPU Voltage [Offset Mode].....	2-14
2.4.8	DRAM Voltage [Auto].....	2-14
2.4.9	SB 1.1V Voltage [Auto].....	2-14
2.4.10	DIGI+ VRM	2-15
2.5	アドバンスドメニュー	2-17
2.5.1	CPU 設定.....	2-17
2.5.2	SATA設定.....	2-18
2.5.3	USB設定	2-19
2.5.4	ノースブリッジ設定.....	2-19
2.5.5	オンボードデバイス設定	2-20
2.5.6	APM.....	2-21
2.5.7	Network Stack.....	2-22
2.6	モニターメニュー	2-23
2.6.1	CPU Temperature / MB Temperature [xxx°C/xxx°F]	2-23
2.6.2	CPU / Chassis fan Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A].....	2-23
2.6.3	CPU Q-Fan Control [Enabled]	2-23
2.6.4	CPU Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage	2-24
2.6.5	Anti Surge Support [Auto]	2-24

2.7	ブートメニュー	2-25
2.7.1	Fast Boot [Enabled].....	2-26
2.7.2	Full Screen Logo [Enabled].....	2-26
2.7.3	Post Delay Time [3 sec].....	2-27
2.7.4	Bootup NumLock State [On].....	2-27
2.7.5	Wait for 'F1' If Error [Enabled].....	2-27
2.7.6	Option ROM Messages [Force BIOS].....	2-27
2.7.7	Setup Mode [EZ Mode]	2-27
2.7.8	CSM Parameters.....	2-27
2.7.9	Secure Boot.....	2-28
2.7.10	Boot Option Priorities	2-29
2.7.11	Boot Override.....	2-29
2.8	ツールメニュー	2-30
2.8.1	ASUS EZ Flash 2 Utility.....	2-30
2.8.2	ASUS SPD Information.....	2-30
2.8.3	ASUS O.C. Profile.....	2-30
2.9	終了メニュー	2-31
Chapter 3	付録	
	ご注意	3-1
	ASUSコンタクトインフォメーション.....	3-3

安全上のご注意

電気の取り扱い

- ・ 本製品、周辺機器、ケーブルなどの取り付けや取り外しを行う際は、必ずコンピューターと周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。お客様の取り付け方法に問題があった場合の故障や破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ・ ご使用の電源装置に電圧選択スイッチが付いている場合は、システムの損傷を防ぐために電源装置の電圧選択スイッチがご利用の地域の電圧と合致しているかをご確認ください。ご利用になる地域の電圧が不明な場合は、各地域の電力会社にお問い合わせください。
- ・ 電源装置が故障した場合はご自分で修理・分解をせず、各メーカーや販売店にご相談ください。
- ・ 光デジタルS/PDIFは、光デジタルコンポーネントで、クラス1レーザー製品に分類されています。(本機能の搭載・非搭載は製品仕様によって異なります)



不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本製品パッケージに付属のマニュアル及び取り付ける部品のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- ・ 各コネクタ及びスロット、ソケット、回路にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。電源回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は弊社修理センターまたは販売代理店にご依頼ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境保護に大きく貢献しています。



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けや構築の際に必要な情報が記してあります。

マニュアルの概要

本章は以下のChapter から構成されています。

- **Chapter 1:製品の概要**
マザーボードの機能とサポートする新機能についての説明。及びスイッチ、ボタン、ジャンパ、コネクタ、LEDなど各部位の説明。
- **Chapter 2:UEFI BIOS設定**
UEFI BIOS Utilityでのシステム設定の変更方法とUEFI BIOS/パラメータの詳細。
- **Chapter 3:付録**
製品の規格や海外の法令について。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、UEFI BIOSやソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. **ASUSオフィシャルサイト (<http://www.asus.co.jp/>)**
各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。
2. **追加ドキュメント**
パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告: 本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 作業を完了させるために、従わなければならない指示です。



注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

表記

太字

選択するメニューや項目を表示します。

斜字

文字やフレーズを強調する時に使います。

<Key>

<> で囲った文字は、キーボードのキーです。

例: <Enter>→Enter もしくはリターンキーを押してください。

<Key1+Key2+Key3>

一度に2つ以上のキーを押す必要がある場合は(+)を使って示しています。

例: <Ctrl+Alt+Delete>



本マニュアルでは、AMD Fusion™ APU(Accelerated Processing Unit)を「APU」または「CPU」と表記しています。

F2A55-M LK2 Series 仕様一覧

プロセッサ	Socket FM2 : AMD A-Series / Athlon™ プロセッサ (最大4コア) AMD Turbo Core Technology 3.0 サポート <ul style="list-style-type: none"> 詳細はASUSオフィシャルサイトのサポートリストをご参照ください。 (http://www.asus.co.jp)
チップセット	AMD A55 FCH (Hudson D2)
対応メモリー	メモリスロット×2:最大32GB DDR3 1866 / 1600 / 1333 / 1066 MHz non-ECC、unbufferedメモリーサポート デュアルチャンネルメモリーアーキテクチャ AMD Memory Profile (AMP) サポート <ul style="list-style-type: none"> 1つのスロットに16GBのメモリーモジュールを取り付けることで、最大32GBまでのメモリーをサポートします。 詳細はASUSオフィシャルサイトの最新のQVL(推奨ベンダーリスト)をご参照ください。 Windows® 32bit OSでは4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、認識されるメモリーは4GB未満となります。Windows® 32bit OSを使用される場合は、4GB未満のシステムメモリー構成にすることをお勧めします。
画面出力機能	APU統合型グラフィックスAMD Radeon™ HD 7000 シリーズ DVI-D:最大解像度 2560x1600@60Hz VGA:最大解像度 1920x1600@60Hz Microsoft® DirectX 11 サポート AMD Radeon™ デュアル・グラフィックスサポート <ul style="list-style-type: none"> AMD Radeon™ デュアル・グラフィックスをサポートするビデオカードについては、AMD オフィシャルサイトをご確認ください。 http://www.amd.com/us/products/technologies/dual-graphics/Pages/dual-graphics.aspx#3
拡張スロット	PCI Express 2.0 x16 スロット×1 PCI Express 2.0 x1 スロット×1 PCI スロット×1
ストレージ機能	AMD A55 FCH: <ul style="list-style-type: none"> SATA 3Gb/s コネクタ×4 (RAID 0/1/10、JBODサポート)
LAN機能	Realtek® 8111F ギガビット・イーサネット・コントローラー
オーディオ機能	Realtek® ALC887-VD 8チャンネルHDオーディオコーデック <ul style="list-style-type: none"> 8チャンネルオーディオ出力の構成には、フロントパネルにHDオーディオモジュールが搭載されたケースをご使用ください。
USB機能	AMD A55 FCH: <ul style="list-style-type: none"> USB 2.0ポート×8 (2ポート拡張コネクタ×2基、バックパネル×4ポート)

(次項へ)

F2A55-M LK2 Series 仕様一覧

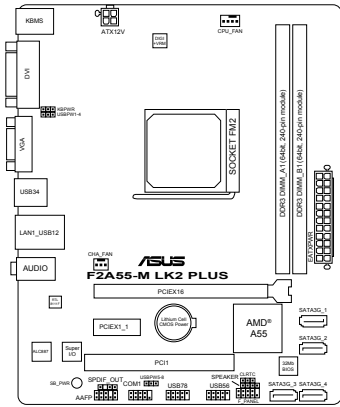
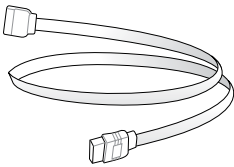
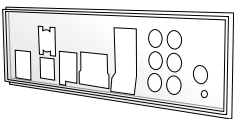

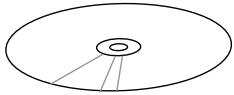
搭載機能	ASUS DIGI+ VRM - 3+2 フェーズ電源設計 Network iControl EPU AI Suite II UEFI BIOS EZ Mode Anti-Surge Protection Fan Xpert CrashFree BIOS 3 EZ Flash 2 MyLogo 2™
搭載機能 (その他)	100% 高品質導電性高分子コンデンサー (F2A55-M LK2 PLUSのみ)
バックパネル インターフェース	PS/2マウスポート×1 (グリーン) PS/2キーボードポート×1 (パープル) DVI-D出力ポート×1 VGA出力ポート×1 LAN (RJ-45) ポート×1 USB 2.0ポート×4 オーディオI/Oポート×3 (8チャンネル対応)
基板上 インターフェース	USB 2.0コネクタ×2:追加USBポート4基に対応 SATA 3Gb/sコネクタ×4 シリアルポートコネクタ×1 システムパネルコネクタ×1 ビープスピーカコネクタ×1 CPUファンコネクタ×1 (4ピン) デジタルオーディオコネクタ×1 ケースファンコネクタ×1 (3ピン) フロントパネルオーディオコネクタ×1 24ピンATX電源コネクタ×1 4ピンATX 12V電源コネクタ×1
BIOS機能	32 Mb Flash ROM、UEFI AMI BIOS、PnP、DMI 2.0、WfM 2.0、SM BIOS 2.6、ACPI 2.0a、多言語BIOS、ASUS EZ Flash 2、ASUS CrashFree BIOS 3、F12 プリントスクリーン、F3ショートカット、ASUS DRAM SPD Information
サポートDVDの 主な内容	ドライバー各種 ASUSユーティリティ各種 マニュアル各種 アンチウイルスソフトウェア (OEM版)
フォームファクター	microATX フォームファクター:22.6cm×17.8cm (8.9インチ×7インチ)



製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

パッケージの内容

製品パッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

 <p>A detailed technical diagram of the ASUS F2A55-M LK2 PLUS motherboard. The diagram shows the layout of various components including the CPU socket (Socket FM2), memory slots (DDR3 DIMM A1, B1, C1, D1), expansion slots (PCIEX16, PCIEX1_1, PCI1), and various ports (USB3, LAN, AUDIO, SATA, etc.). The central branding 'ASUS F2A55-M LK2 PLUS' and 'AMD A55' are clearly visible.</p>	 <p>A single SATA 3Gb/s data cable with a standard SATA connector on one end and a SATA-to-USB adapter connector on the other.</p>	
<p>ASUS F2A55-M LK2 Series マザーボード</p>	<p>SATA 3Gb/sケーブル×2</p>	
 <p>A rectangular metal I/O shield with several cutouts for ports and connectors.</p>	 <p>A small, square booklet with 'User Guide' printed on the cover.</p>	 <p>A standard 12cm optical disc (DVD) with a printed label.</p>
<p>I/Oシールド ×1</p>	<p>ユーザーマニュアル</p>	<p>サポートDVD</p>



- F2A55-M LK2 Seriesマザーボードには、**F2A55-M LK2 PLUS** と **F2A55-M LK2**の2つのモデルがあります。パッケージの内容はモデルにより異なる場合があります。
- 万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。
- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご了承ください。

製品の概要

1

1.1 独自機能

1.1.1 製品の特長

AMD A-Series / Athlon™ プロセッサー

本製品は最大4コアまでのAMD A-Series / Athlon™ プロセッサーをサポートします。この革新的なAPUは素晴らしい性能と省電力性能を兼ね備えています。また、AMD A-Series プロセッサー (APU) はDirectX11対応のAMD Radeon™ HD 7000シリーズグラフィックスを搭載しているので、ハイクオリティで美しいグラフィックスをスムーズに描画することが可能です。さらに、AMD A-Series / Athlon™ プロセッサーはAMD Turbo Core Technology、デュアルチャンネルDDR3メモリー、最大5GT/sのリンクスピードをサポートします。

AMD A55 FCH (Hudson D2) チップセット

AMD A55 FCHはリンクスピード最大5GT/sのインターフェースをサポートします。また、SATA 3Gb/sを6ポートサポートしています。

デュアルチャンネルDDR3 1866 / 1600 / 1333 / 1066 MHz サポート

本製品はデータ転送率DDR3 1866 / 1600 / 1333 / 1066 MHzメモリーをサポートし、最新の3Dゲーム、マルチメディア、インターネットアプリケーションといった高い帯域幅を必要とする用途での要件を満たします。デュアルチャンネルDDR3メモリーアーキテクチャーは、システムのメモリー帯域幅を拡大しパフォーマンスを向上させます。

8チャンネルHDオーディオ

オンボード8チャンネルHDオーディオ (High Definition Audio、コードネームAzalia) CODECは、ハイクオリティの192KHz/24bitのリニアPCM、オーディオジャック検出機能、ジャックリタスキング機能に対応しています。

Gigabit LANソリューション

本製品に搭載されたLANコントローラーは高度に統合されたギガビット・イーサネット・コントローラーです。ACPI機能対応により消費電力の低減を実現し、より高度なオペレーションを提供します。

100% 高品質導電性高分子コンデンサー (F2A55-M LK2 PLUSのみ)

本製品は高品質導電性高分子コンデンサーを使用しています。コンポーネントの寿命を延ばし、散熱性能を強化します。

1.1.2 ASUS DIGI+ VRM

DIGI+ POWER CONTROL: APU専用デジタル電源設計*

AMD A55 FCH搭載のASUS製マザーボードは、APU用にDIGI+ VRM (Voltage Regulation Modules) デジタル電源設計を採用しました。APU電圧は最適化されたプロファイル、またはユーザー定義のプロファイルで調整することができます。DIGI+ VRM デジタル電源設計によってシステムの状況に合わせて正確な電源供給を行うことで非常に高いエネルギー効率を実現します。この独自の電源設計により理想的なコンピューティングプラットフォームを実現し、アプリケーション、オンラインゲーム、マルチメディア、オフィスワークなど多様化するマルチタスクのニーズに応えます。入念なテストと妥協のない改良の繰り返しによって生み出されたDIGI+ VRM デジタル電源設計を搭載する本製品はあなたに最高のパフォーマンスを提供します。

* DIGI+ VRM機能はSocket FM2互換のAPU/CPUでご利用いただけます。

1.1.3 ASUSの独自機能

Network iControl

Network iControl は、たったワンクリックの操作で現在のネットワーク状態を管理し、使用中のアプリケーションへ優先的にネットワーク帯域を割り当てます。また、各プログラムの帯域優先度を設定しプロファイルに保存することで、よく利用するプログラムやネットワーク帯域が必要なプログラムのネットワーク帯域を簡単に最適化することができます。プロファイルではプログラムごとに時間による制限も設定することができます。さらに、自動PPPoEネットワーク接続やTCP遅延回避機能も備えた、使いやすいネットワークコントロールセンターです。

* Network iControl機能は、Windows® 7/8でご利用いただけます。

ASUS UEFI BIOS (EZ Mode)

ASUS UEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースです。OSを使用するのと同じくらい簡単に操作することができます。また、F12ファンクションキーを押すことによってUSBメモリーにUEFI画面のキャプチャー画像を保存できるので、メモを取らなくても簡単に設定の共有をすることができます。EZ Modeは多くのユーザーがアクセスする項目が表示されています。Advanced Modeは従来のBIOSのような詳細な項目が表示され、複雑なシステム設定を行うことが可能です。ASUSのUEFI(EFI)は従来のMBR (Master Boot Record) に代わるGUID/パーティションテーブル (GPT) をサポートしているので、2.2TBを超える記憶装置の全領域を利用することができます。

強化された機能

- F12ファンクションキーを押すことによってUEFI BIOS画面のスクリーンショットを撮影し、オンボードUSBポートに接続したUSBメモリーに保存することができます。設定情報の共有やトラブルシューティングにご活用いただけます。

- F3ファンクションキーを押すことによって、ショートカットメニューを表示し頻繁にアクセスする項目に直接移動することができます。

- ASUS DRAM SPD (Serial Presence Detect) は、迅速且つ簡単にDRAMの状況をチェックする機能です。問題のあるメモリーを検知し、メモリーによるPOST問題を素早く解決に導きます。

EPU

ASUS独自の電力管理専用チップEPU (Energy Processing Unit) によって、世界初のPCのリアルタイム省電力機能を有効にすることができます。現在のPCの負荷状態を検出し、自動で効率よく電力消費を抑えることにより、システム全体のエネルギー効率を最適化します。また、この機能は適切な電源管理を行うことでファンのノイズを軽減し、コンポーネントの寿命を延ばします。

ASUS Anti-Surge Protection

電源ユニットの入力電圧切り替え時など、電圧変動時に発生しやすい異常電圧からマザーボードや高価なデバイスを保護します。

AI Suite II

ASUS AI Suite II は使いやすいユーザーインターフェースにより、オーバークロックや電源管理、ファンスピードの調節、電圧と温度センサーの表示、ステータスの読み込みを行うASUS独自の各種ユーティリティの操作が簡単に行えます。また、このユーティリティ一つで各種操作が行えますので、複数のユーティリティを起動する煩わしさを解消します。

ASUS Fan Xpert

ASUS Fan Xpert は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンのスピードを調節することができます。予め準備されたプロファイルから設定を選択することにより、ファン速度を臨機応変にコントロールすることもできます。

ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ-Flash 2はフロッピーの起動ディスクやOSベースのユーティリティを使用せずにUEFI BIOSを更新することができるユーザーフレンドリーなユーティリティです。

ASUS MyLogo2™

システム起動時のフルスクリーンロゴを、お好きな画像に変更することができます。

ASUS CrashFree BIOS 3

破損したUEFI BIOSデータをBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリー、またはサポートDVDから復旧することができます。

C.P.R. (CPU Parameter Recall)

マザーボードUEFI BIOSの C.P.R.機能は、オーバークロックが原因でシステムがハングした場合に自動的にUEFI BIOSをデフォルト設定値に復旧します。オーバークロック時にシステムがハングした場合、UEFI BIOSをデフォルト設定値に自動再設定します。シャットダウンし、再起動するだけです。ケースを開けてRTCデータをクリアする必要はありません。

ErP ready

本製品は、European Union's Energy-related Products (ErP) 対応製品です。ErP対応製品は、エネルギー消費に関して、ある一定のエネルギー効率要件を満たしている必要があります。これはASUSの革新的製品設計で環境に優しい、エネルギー効率の良い製品を提供することで、二酸化炭素排出量を削減し、環境保護に努めるというASUSの企業理念と合致するものです。

1.2 始める前に

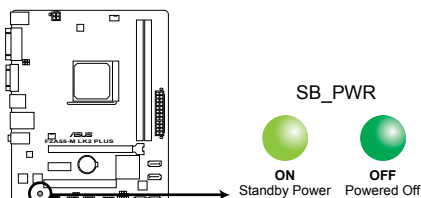
マザーボードのパーツの取り付けや設定変更の際は、次の事項に注意してください。



- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- IC部分には絶対に手を触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置くか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、ATX電源ユニットのスイッチをOFFの位置にし、電源コードが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。

スタンバイ電源LED

本製品にはスタンバイ電源LEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します(スリープモード、ソフトオフモードも含む)。マザーボードに各パーツの取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。



F2A55-M LK2 PLUS Onboard LED

1.3 マザーボードの概要

1.3.1 設置方向

マザーボードが正しい向きでケースに取り付けられているかを確認してください。
下の図のように外部ポートをケースの背面部分に合わせます。

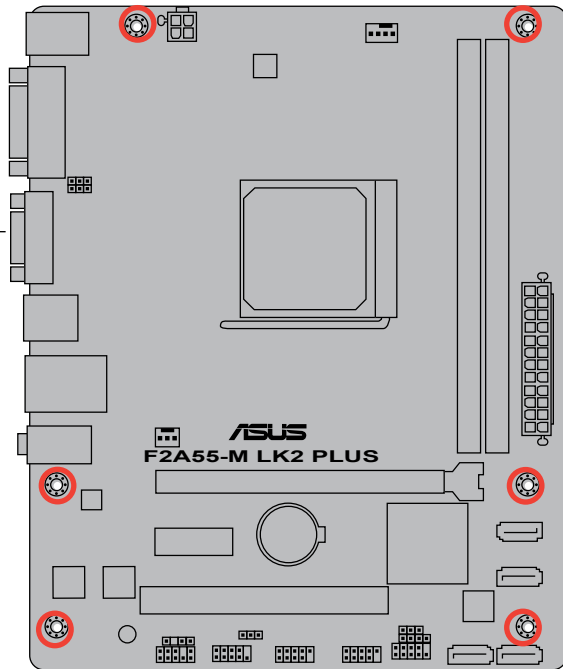
1.3.2 ネジ穴

ネジ穴は6カ所あります。ネジ穴の位置を合せてマザーボードをケースに固定します。



ネジをきつく締めすぎないでください。マザーボードの破損の原因となります。

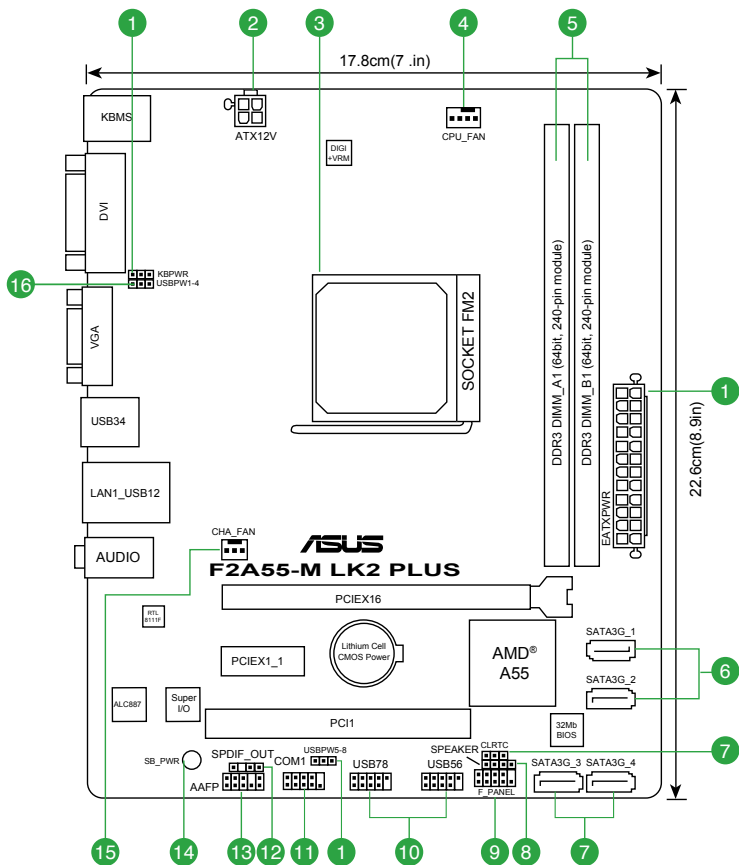
この面をケースの背面に合
わせます。



1.3.3 マザーボードのレイアウト



F2A55-M LK2 Series マザーボードには、**F2A55-M LK2 PLUS**と**F2A55-M LK2**の2つのモデルがあります。パッケージの内容はモデルにより異なる場合があります。本マニュアルでは、例として**F2A55-M LK2 PLUS**のイラストを使用しています。



1.3.4 レイアウトの内容

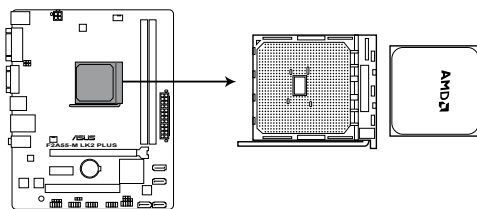
コネクター/ジャンパ/スロット/スイッチ/LED	ページ
1. キーボード電源ジャンパ (3ピン KBPWR)	1-21
2. ATX電源コネクター (24ピン EATXPWR, 4ピン ATX12V)	1-24
3. プロセッサソケット: Socket FM2	1-7
4. CPUファンコネクター (4ピン CPU_FAN)	1-23
5. DDR3メモリスロット	1-11
6. SATA 3Gb/s コネクター (7ピン SATA3G_1-4)	1-25
7. Clear CMOSジャンパ (3ピン CLRTC)	1-20
8. システムパネルコネクター (10-1ピン F_PANEL)	1-26
9. ビープスピーカーコネクター (4ピン SPEAKER)	1-26
10. USB 2.0コネクター (10-1ピン USB56, USB78)	1-28
11. シリアルポートコネクター (10-1ピン COM)	1-28
12. デジタルオーディオコネクター (4-1ピン SPDIF_OUT)	1-27
13. フロントパネルオーディオコネクター (10-1ピン AAFP)	1-27
14. スタンバイ電源 LED (SB_PWR)	1-4
15. ケースファンコネクター (3ピン CHA_FAN)	1-23
16. USBデバイスウェイクアップジャンパ (3ピン USBPW1-4, 3ピン USBPW5-8)	1-21

1.4 プロセッサ

本製品には、AMD A-Series / Athlon™ プロセッサに対応するSocket FM2 が搭載されています。

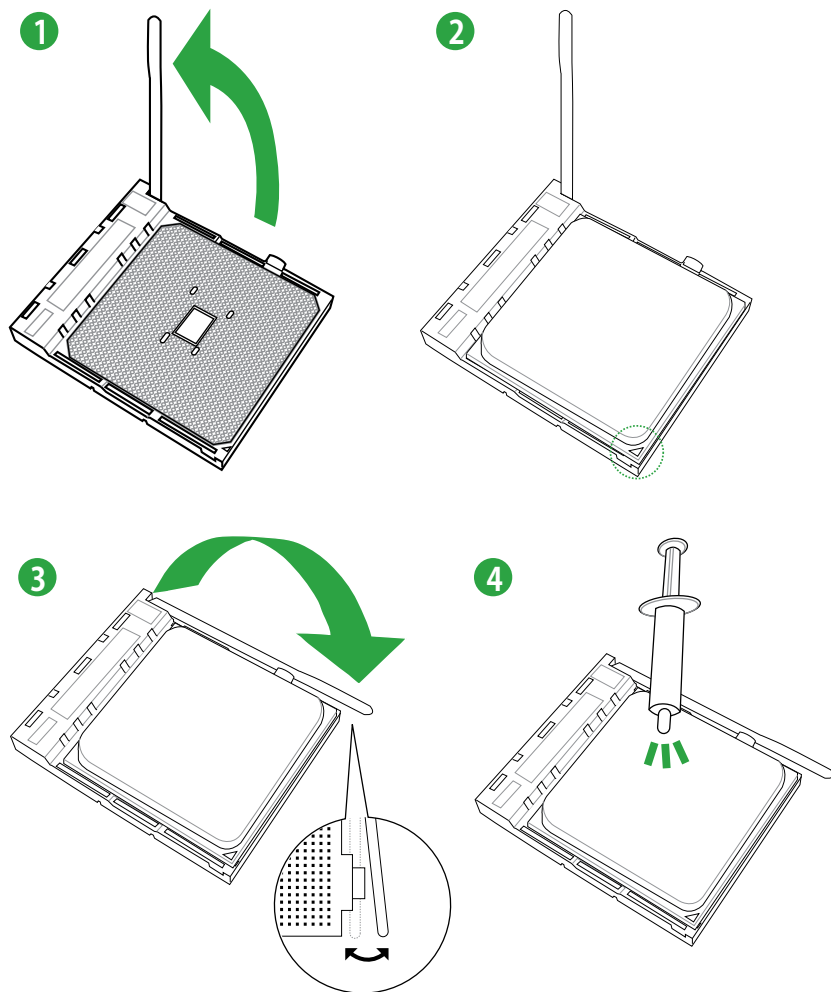


Socket FM2に対応するプロセッサをご使用ください。プロセッサは取り付けの向きが決まっています。無理にはめ込もうとしないでください。破損の原因となります。

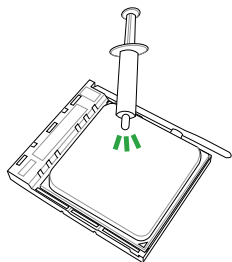


F2A55-M LK2 PLUS CPU socket FM2

1.4.1 プロセッサを取り付ける



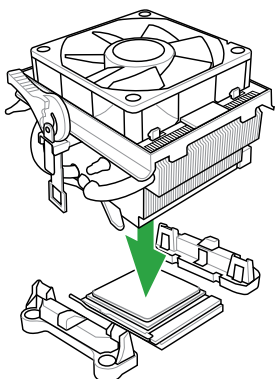
1.4.2 プロセッサークーラーを取り付ける



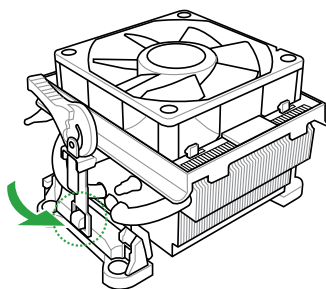
プロセッサークーラーを取り付ける前に、必ずプロセッサにサーマルグリス(シリコングリス)を塗布してください。プロセッサークーラーによっては、サーマルグリスや熱伝導体シートなどが購入時から貼付されています。

プロセッサークーラーの取り付け手順

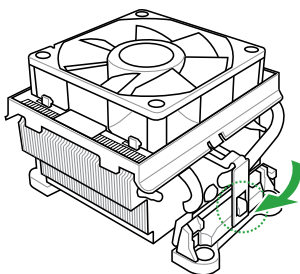
1



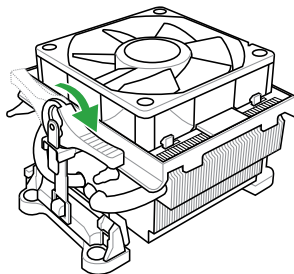
2



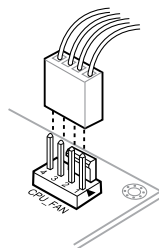
3



4

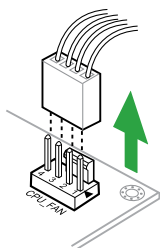


5

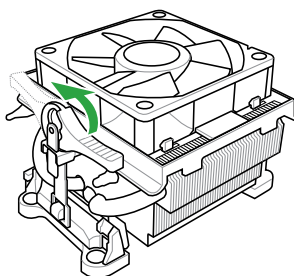


プロセッサークーラーの取り外し手順

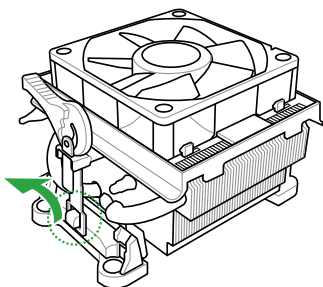
1



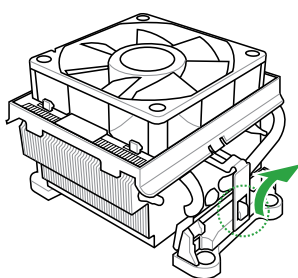
2



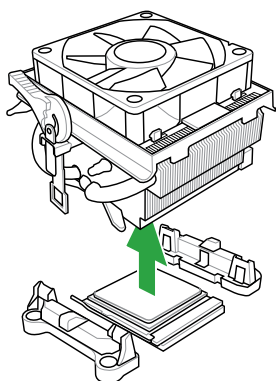
3



4



5



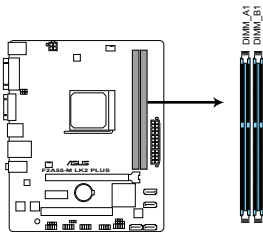
1.5 システムメモリー

1.5.1 概要

本製品には、DDR3 メモリーに対応したメモリースロットが2基搭載されています。

DDR3メモリーはDDR2メモリーと同様の大きさですが、DDR2メモリースロットに誤って取り付けることを防ぐため、ノッチの位置は異なります。DDR3メモリーは電力消費を抑えて性能を向上させます。

次の図は、スロットの場所を示しています。



F2A55-M LK2 PLUS 240ピン DDR3 DIMM Slots

チャンネル	スロット
Channel A	DIMM_A1
Channel B	DIMM_B1

1.5.2 メモリー構成

1GB、2GB、4GB、8GB、16GBのNon-ECC Unbuffered DDR3メモリーをメモリースロットに取り付けることができます。



- DDR3-2133(PC3-17000)を超える、またはそのタイミングに対応したメモリーモジュールやオーバークロックプロファイルを読み込むメモリーモジュールはJEDEC規格準拠ではありません。また、メモリーモジュールの互換性と安定性はAPU依存に依存しています。
- 容量の異なるメモリーを Channel A と Channel B に取り付けることができます。異なる容量のメモリーをデュアルチャンネル構成で取り付けた場合、アクセス領域はメモリー容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリーの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーの同じ製造週のものを取り付けることをお勧めします。
- メモリーの割り当てに関する制限により、32bit Windows® OS では 4 GB以上のシステムメモリーを取り付けても、OSが実際に利用可能な物理メモリーは4GB未満となります。メモリーリソースを効果的にご使用いただくため、次のいずれかのメモリー構成をお勧めします。
 - Windows® 32bit OSでは、4GB未満のシステムメモリー構成にする
 - 4GB以上のシステムメモリー構成では、64bit Windows® OSをインストールする
 詳細はMicrosoft® のサポートサイトでご確認ください。
<http://support.microsoft.com/kb/929605/ja>
- 本製品は512 Mbit (64MB) 以下のチップで構成されたメモリーをサポートしていません。512 Mbitのメモリーチップを搭載したメモリーモジュールは動作保証致しかねます。(メモリーチップセットの容量はMegabit で表します。8 Megabit/Mb=1 Megabyte/MB)
- 1つのスロットに16GBのメモリーを使用することで、最大32GBまでのメモリーをサポートします。



- デフォルト設定のメモリー動作周波数はメモリーのSPDにより異なります。デフォルト設定では、特定のメモリーはオーバークロックしてもメーカーが公表する値より低い値で動作する場合があります。メーカーが公表する値、またはそれ以上の周波数で動作させる場合は、「**2.4 Ai Tweaker メニュー**」を参照し手動設定してください。
- メモリーを2枚取り付ける場合やメモリーをオーバークロックする場合は、それに対応可能な冷却システムが必要となります。

F2A55-M LK2 Series マザーボード QVL (メモリー推奨ベンダーリスト)

DDR3 1866 MHz

ベンダー	パートNo.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリースロット サポート (オプション)	
								1枚	2枚
CORSAIR	CMT4GX3M2A1866C9(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	*	*
CORSAIR	CMT6GX3MA1866C9(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	*	*
CORSAIR	CMZ8GX3M2A1866C9(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-27	1.50V	*	*
G.SKILL	F3-14900CL9Q-16GBZL(XMP1.3)	16GB(4GB x 4)	DS	-	-	9-10-9-28	1.5V	*	*
G.SKILL	F3-14900CL10Q2-64GBZLD(XMP1.3)	64GB(8GB x 8)	DS	-	-	10-11-10-30	1.5V	*	*
G.SKILL	F3-14900CL9D-8GBXL(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-10-9-28	1.5V	*	*
G.SKILL	F3-14900CL9Q-8GBXL(XMP)	8GB(2GB x 4)	DS	-	-	9-9-9-24	1.6V	*	*
KINGSTON	KHX1866C9D3K4/16GX(XMP)	16GB(4GB x 4)	DS	-	-	-	1.65V	*	*
KINGSTON	KHX1866C9D3T1K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65V	*	*
KINGSTON	KHX1866C11D3P1K2/8G	8GB(4GB x 2)	DS	-	-	-	1.5V	*	*
KINGSTON	KHX1866C9D3K2/8GX(XMP)	8GB(4GB x 2)	DS	-	-	-	1.65V	*	*

F2A55-M LK2 Series マザーボード QVL (メモリー推奨ベンダーリスト)

DDR3 1600 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/ DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロット サポート (オプション)
								1枚 2枚
A-DATA	AM2U16BC2P1	2GB	SS	A-DATA	3CCD-1509A EL1126T	-	-	•
A-DATA	AM2U16BC4P2	4GB	DS	A-DATA	3CCD-1509A EL1126T	-	-	•
A-DATA	AX3U1600C4G9-2G(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.55V-1.75V	•
A-DATA	AX3U1600XC4G79-2X(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-9-7-21	1.55V-1.75V	•
Apacer	78.B1GE3.9L10C	4GB	DS	Apacer KZZC	AM5D5908D EQSCK	-	-	•
CORSAIR	CMD12GX3M6A1600C8(XMP)	12GB(6 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•
CORSAIR	CMZ32GX3M4X1600C10(XMP)	32GB(8GB x 4)	DS	-	-	10-10-10-27	1.50V	•
CORSAIR	CMP4GX3M2A1600C8(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•
CORSAIR	CMP4GX3M2A1600C9(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•
CORSAIR	CMP4GX3M2C1600C7(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-8-7-20	1.65V	•
CORSAIR	CMX4GX3M2A1600C9(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•
CORSAIR	CMX4GX3M2A1600C9(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•
CORSAIR	TR3X6G1600C8 G(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•
CORSAIR	TR3X6G1600C8D G(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.65V	•
CORSAIR	TR3X6G1600C9 G(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•
CORSAIR	CMP8GX3M2A1600C9(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•
CORSAIR	CMZ8GX3M2A1600C7R(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-8-7-20	1.50V	•
CORSAIR	CMX8GX3M4A1600C9(XMP)	8GB(4 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.65V	•
Crucial	BL2566B1608.16FF(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	-	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBRH(XMP)	4GB(2 x 2GB)	SS	-	-	7-7-7-24	1.6V	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-7-8-24	XMP 1.35V	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-4GBRM(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-8-7-24	1.6V	•
G.SKILL	F3-12800CL8D-4GBRM(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	1.60V	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	XMP 1.35V	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-4GBRL(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•
G.SKILL	F3-12800CL9T-6GBN(Q)(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V-1.6V	•
G.SKILL	F3-12800CL7D-8GBRH(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-8-7-24	1.6V	•
G.SKILL	F3-12800CL8D-8GBECO(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	8-8-8-24	XMP 1.35V	•
G.SKILL	F3-12800CL9D-8GBRL(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•
GEIL	GET316GB1600C9QC(XMP)	16GB(4 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-28	1.6V	•
GEIL	GV34GB1600C8DC(XMP)	2GB	DS	-	-	8-8-8-28	1.6V	•
HYNIX	HMT351U6CFR8C-PB	4GB	DS	HYNIX	H5TQ2G83 CFR PBC	-	-	•
KINGMAX	FLGE85F-B8KJ9A FEIS(XMP)	2GB	DS	-	-	-	-	•
KINGMAX	FLGE85F-B8MF7 MEEH(XMP)	2GB	DS	-	-	7	-	•
KINGSTON	KHX1600C9D3P1K2/4G	4GB(2 x 2GB)	SS	-	-	-	1.5V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/12GX(XMP)	12GB(3 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3T1BK3/12GX(XMP)	12GB(3 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K4/16GX(XMP)	16GB(4GB x 4)	DS	-	-	-	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C10D3B1K2/16G	16GB(8GB x 2)	DS	-	-	-	1.5V	•
KINGSTON	KHX16C9K2/16	16GB(8GB x 2)	DS	-	-	-	1.5V	•
KINGSTON	KHX1600C9AD3/2G	2GB	DS	-	-	-	1.65V	•
KINGSTON	KVR1600D3N11/2G-ES	2GB	DS	KTC	D1288JPN DPLD9U	11-11-11-28	1.35V-1.5V	•
KINGSTON	KHX1600C7D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C8D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C8D3T1K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3L2K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9	XMP 1.35V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K2K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3T1K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	-	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3T1BK3/6GX(XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3K2/8GX(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	9-9-9-27	1.65V	•
KINGSTON	KHX1600C9D3P1K2/8G	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	-	1.5V	•
Super Talent	WA160UX8G9	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	9	-	•
SanMax	SMD-4G68HP-16KZ	4GB	DS	HYNIX	H5TQ2G83 BFR PBC	-	-	•
Apacer	78.B1GE3.9L10C	4GB	DS	Apacer KZZC	AM5D5908 DEQSCK	-	-	•
KINGSTON	KHX1600C10D3B1K2/16G	16GB(8GB x 2)	DS	-	-	-	1.5V	•
KINGSTON	KHX16C9K2/16	16GB(8GB x 2)	DS	-	-	-	1.5V	•
Elixir	M2X8G64C8BH85N-DG(XMP)	8GB	DS	Elixir 1213	N2CB4G8 BOBN-DG	-	-	•

F2A55-M LK2 Series マザーボード QVL (メモリー推奨ベンダーリスト)

DDR3 1333 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/ DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリスロット サポート (オプション)
								1枚 2枚
A-DATA	AD3U1333C2G9	2GB	SS	A-DATA	3CCD-1509HNA1126L	-	-	•
A-DATA	AM2U139C2P1	2GB	SS	ADATA	3CCD-1509A EL1127T	-	-	•
A-DATA	AX3U1333C2G9-BP	2GB	SS	-	-	-	-	•
A-DATA	AXDU1333GC2G9-2G(XMP)	4GB(2 x 2GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.25V- 1.35V(low voltage)	•
A-DATA	AD631C1624E4V	4GB	DS	A-Data	3CCA-1509A	-	-	•
A-DATA	AM2U139C4P2	4GB	DS	ADATA	3CCD-1509A EL1127T	-	-	•
A-DATA	SU3U1333W8G9-B	8GB	DS	ELPIDA	J4208BBASE-DJ-F	-	-	•
Apacer	78.A1GC6.9L1	2GB	DS	Apacer	AM5D5808DEWSBG	-	-	•
Apacer	78.A1GC6.9L1	2GB	DS	Apacer	AM5D5808FEQSBG	9	-	•
Apacer	AU02GFA33C9NBGC	2GB	DS	Apacer	AM5D5808APQSBG	-	-	•
Apacer	78.B1GDE.9L10C	4GB	DS	Apacer	AM5D5908CEHSBG	-	-	•
CORSAIR	TR3X6G1333C9 G	6GB(3x 2GB)	SS	-	-	9-9-9-24	1.50V	•
CORSAIR	CMD24GX3M6A1333C9(XMP)	24GB(6x4GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.60V	•
CORSAIR	TW3X4G1333C9D G	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.50V	•
CORSAIR	CMX34GA1333C9N2	4GB	DS	CORSAIR	256MBCDJGELC040 1136	9-9-9-24	-	•
CORSAIR	CMX4GX3M1A1333C9	4GB	DS	-	-	9-9-9-24	1.50V	•
CORSAIR	CMD8GX3M4A1333C7	8GB(4 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-20	1.60V	•
Crucial	CT25664BA1339.16FF	2GB	DS	Micron	9KF27D9KPT	9	-	•
Crucial	BL25664BN1337.16FF (XMP)	6GB(3 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-24	1.65V	•
ELPIDA	EBJ21UE8EDF0-DJ-F	2GB	DS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	1.35V(low voltage)	•
G.SKILL	F3-10666CL8D-4GBECO(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	8-8-8-24	XMP 1.35V	•
G.SKILL	F3-10666CL7D-8GBRH(XMP)	8GB(2 x 4GB)	DS	-	-	7-7-7-21	1.5V	•
GEIL	GG34GB1333C9DC	4GB(2 x 2GB)	DS	GEIL	GL1L128M88BA12N	9-9-9-24	1.3V(low voltage)	•
GEIL	GV34GB1333C9DC	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9-9-9-24	1.5V	•
GEIL	GVP34GB1333C7DC	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7-7-7-24	1.5V	•
Hynix	HMT1325U6BFR8C-H9	2GB	SS	Hynix	H5TQ2G83BFRH9C	-	-	•
Hynix	HMT125U6TFR8A-H9	2GB	DS	Hynix	H5TC1G83TFRH9A	-	1.35V(low voltage)	•
Hynix	HMT351U6BFR8C-H9	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83BFRH9C	-	-	•
KINGMAX	FLFE85F-C8KF9 CAES	2GB	SS	KINGMAX	KFC8FMFXF-DXX-15A	-	-	•
KINGMAX	FLFE85F-C8KL9 NAES	2GB	SS	KINGMAX	KFC8FMFXF-DXX-15A	-	-	•
KINGMAX	FLFE85F-C8KM9 NAES	2GB	SS	KINGMAX	KFC8FMFXF-BXX-15A	-	-	•
KINGMAX	FLFE85F-B8KL9 NEES	2GB	DS	KINGMAX	KFC8FMWBF8GMX-26A	-	-	•
KINGMAX	FLFF65F-C8KL9 NEES	4GB	DS	KINGMAX	KFC8FMFXF-DXX-15A	-	-	•
KINGMAX	FLFF65F-C8KM9 NEES	4GB	DS	KINGMAX	KFC8FMFXF-BXX-15A	-	-	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G(low profile)	2GB	SS	Hynix	H5TQ2G83AFRH9C	9	-	•
KINGSTON	KVR1333D3S8N9/2G	2GB	SS	Micron	IID77 D9LGC	-	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3S8N9/2G-SP(low profile)	2GB	SS	ELPIDA	J2108BCSE-DJ-F	-	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G(low profile)	2GB	DS	ELPIDA	J1108BFBG-DJ-F	9	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	KTC	D1288JPNDFLD9U	9	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G	2GB	DS	ELPIDA	J1108BSE-DJ-F	9	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G-SP(low profile)	2GB	DS	KTC	D1288JEMFNGD9U	-	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/2G-SP(low profile)	2GB	DS	KINGSTON	D1288JPSFPGD9U	-	1.5V	•
KINGSTON	KHX1333C7D3K2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	7	1.65V	•
KINGSTON	KHX1333C9D3UK2/4GX(XMP)	4GB(2 x 2GB)	DS	-	-	9	XMP 1.25V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G(low profile)	4GB	DS	ELPIDA	J2108BCSE-DJ-F	9	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G(low profile)	4GB	DS	ELPIDA	J2108BCSE-DJ-F	-	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G	4GB	DS	KTC	D2568JENCNGD9U	-	1.5V	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83AFR	-	-	•
KINGSTON	KVR1333D3N9/4G-SP(low profile)	4GB	DS	KINGSTON	D2568JENCNGD9U	-	1.5V	•
Micron	MT8JTF25664AZ-1G4D1	2GB	SS	Micron	OJD12D9L GK	-	-	•
Micron	MT8JTF25664AZ-1G4M1	2GB	SS	MICRON	IJM22 D9PFJ	-	-	•
Micron	MT16JTF25664AZ-1G4F1	2GB	DS	Micron	9KF27D9KPT	9	-	•
Micron	MT16JTF151264AZ-1G4D1	4GB	DS	Micron	OLD22D9L GK	-	-	•
NANYA	NT4GC64B8HG0NF-CG	4GB	DS	NANYA	NT5CB256M8NG-CG	-	-	•
PSC	AL8F8G73F-DJ2	2GB	DS	PSC	A3P1GF3FGF	-	-	•
SAMSUNG	M378B5773DHO-CH9	2GB	SS	SAMSUNG	K4B2G0846D	-	-	•
SAMSUNG	M378B5673FH0-CH9	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F	-	-	•
SAMSUNG	M378B5273CH0-CH9	4GB	DS	SAMSUNG	K4B2G0846C	-	-	•
Super Talent	W1333UB2GS	2GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846F	9	-	•
Super Talent	W1333UB4GS	4GB	DS	SAMSUNG	K4B2G0846C	-	-	•
Super Talent	W1333UX6GM	6GB(3x 2GB)	DS	Micron	0BF27D9KPT	9-9-9-24	1.5V	•
KINGSTEK	KSTD3PC-10600	2GB	SS	MICRON	PE911-125E	-	-	•

F2A55-M LK2 Series マザーボード QVL (メモリー推奨ベンダーリスト)

DDR3 1066 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップ ブランド	チップNO.	タイミング	電圧	メモリースロット サポート (オプション)	
								1枚	2枚
Crucial	CT12864BA1067.8FF	1GB	SS	Micron	9GF22D9KPT	7	-	•	•
ELPIDA	EBJ21UE8EDF0-AE-F	2GB	DS	ELPIDA	J1108EDSE-DJ-F	-	1.35V(low voltage)	•	•
KINGSTON	KVR1066D3N7/1G(low profile)	1GB	SS	ELPIDA	J1108BFSE-DJ-F	7	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1066D3N7/4G	4GB	DS	Hynix	H5TQ2G83AFR	7	1.5V	•	•



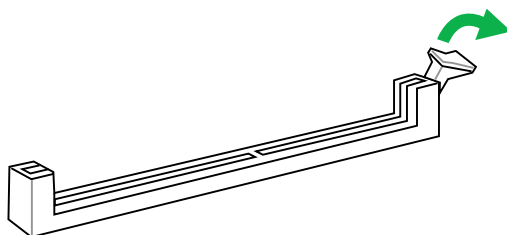
SS - シングルサイド / DS - ダブルサイド

メモリーサポート:

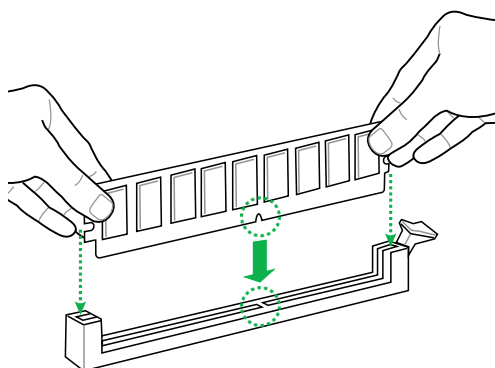
- **メモリー 1 枚:** シングルチャンネルメモリー構成として 1 枚のメモリーを任意の
スロットに取り付けることが可能です。
- **メモリー 2 枚:** 1 組のデュアルチャンネルメモリー構成として 2 枚のメモリーを両方のスロ
ットに取り付けることが可能です。
- 最新のQVLはASUSオフィシャルサイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

1.5.3 メモリーを取り付ける

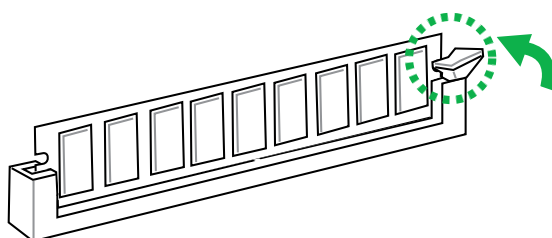
①



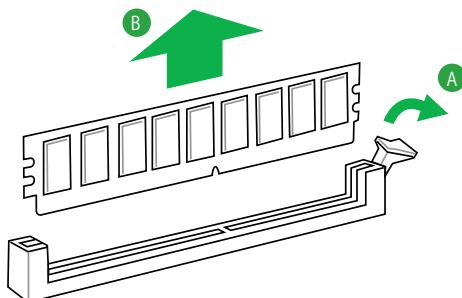
②



③



メモリーを取り外す



1.6 拡張スロット

拡張カードを取り付ける場合は、このページに書かれている拡張スロットに関する説明をお読みください。



拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

1.6.1 拡張カードを取り付ける

手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルを読み、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. コンピューターのケースを開けます（マザーボードをケースに取り付けている場合）。
3. 拡張カードを取り付けるスロットのブラケットを取り外します。ネジは後で使用するので、大切に保管してください。
4. 拡張カードの端子部分をスロットに合わせ、拡張カードがスロットに完全に固定されるまでしっかり押します。
5. 拡張カードをネジでケースに固定します。
6. ケースを元に戻します。

1.6.2 拡張カードを設定する

拡張カードを取り付けた後、ソフトウェアの設定を行い拡張カードを使用できるようにします。

1. システムの電源をONにし、必要であれば UEFI BIOSの設定を変更します。UEFI BIOSの設定に関する詳細は、Chapter 2 をご参照ください。
2. IRQ (割り込み要求) が割り当てられていることを確認します。
3. 拡張カード用のソフトウェアドライバーをインストールします。



PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバーがIRQの共有をサポートすること、または、カードが IRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQを要求する2つのPCI グループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなることがあります。

1.6.3 PCI スロット

LANカード、SCSI カード、USBカード等のPCI 規格準拠のカードをサポートしています。

1.6.4 PCI Express 2.0 x1 スロット

ネットワークカード、SCSI カード等のPCI Express 2.0 規格準拠のx1スロット対応拡張カードをサポートしています。

1.6.5 PCI Express 2.0 x16 スロット

ビデオカード等のPCI Express 2.0 規格準拠のx16スロットまでの拡張カードをサポートしています。

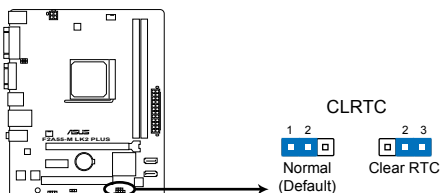
割り込み要求 (IRQ) の割り当て

	A	B	C	D	E	F	G	H
PCIEX16	-	-	共有	-	-	-	-	-
PCIEX1_1	共有	-	-	-	-	-	-	-
PCI1	-	-	-	-	共有	-	-	-
Realtek LAN コントローラー	-	共有	-	-	-	-	-	-
HD オーディオ	共有	-	-	-	-	-	-	-
SATA コントローラー	-	-	-	共有	-	-	-	-
On Chip USB EHCI 1/2/3	-	共有	-	-	-	-	-	-
On Chip USB OHCI 1/2/3/4	-	-	共有	-	-	-	-	-

1.7 ジャンパ

1. Clear CMOS ジャンパ (CLRRTC)

このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック (RTC) RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン型電池により行われています。



F2A55-M LK2 PLUS Clear RTC RAM

RTC RAMをクリアする手順

1. コンピューターの電源をOFFにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
3. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をONにします。
4. 起動プロセスの間<Delete>を押し、UEFI BIOS Utilityを起動しデータを再入力します。



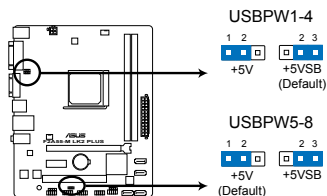
RTC RAMをクリアしている場合を除き、CLRRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



- 上記の手順を踏んでもRTC RAMがクリアできない場合は、マザーボードのボタン電池を取り外し、ジャンパの設定を行ってください。なお、クリアが終了した後は、電池を元に戻してください。
- オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall) 機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、UEFI BIOSは自動的にパラメータ設定をデフォルト設定値にリセットします。

2. USBデバイスウェイクアップジャンパ (3ピン USBPW1-4, 3ピン USBPW5-8)

USBポートの給電方法を設定します。接続されたUSBデバイスを使用して、S1ステートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン1-2(+5V)に設定します。S3/S4ステートからのウェイクアップを有効にするには、ジャンパをピン2-3(+5VSB)に設定します。



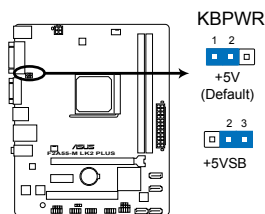
F2A55-M LK2 PLUS USB Device Wake Up



- USBデバイスウェイクアップ機能を使用するには、各USBポート用の+5VSBリード線に500mAを供給可能な電源ユニットが必要です。
- 総電力消費量が電源供給能力(+5VSB)を上回らないようにご注意ください。

3. キーボード電源ジャンパ (3ピン KBPWR)

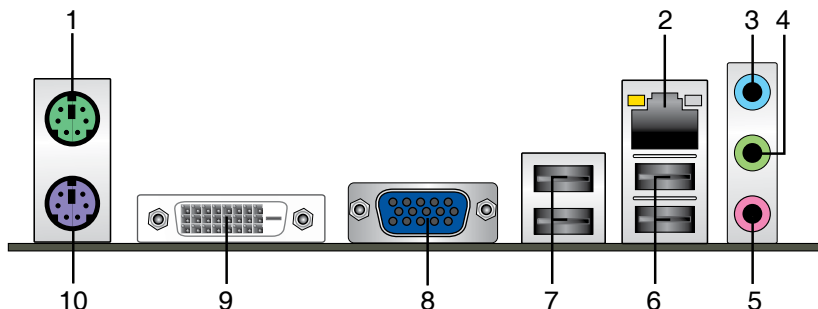
キーボードへの給電方法を設定します。このジャンパをピン2-3(+5VSB)に設定することでシステムシャットダウン後も待機電力としてキーボードへ電力を供給し、PS/2キーボードでのウェイクアップ機能を可能にします。PS/2キーボードでのウェイクアップ機能を使用するには、+5VSBリード線に少なくとも1Aを供給する電源ユニットとUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。



F2A55-M LK2 PLUS Keyboard power setting

1.8 コネクター

1.8.1 パックパネルコネクター



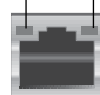
1. **PS/2 マウスポート(グリーン)**:PS/2マウスを接続します。
2. **LAN (RJ-45) ポート**:LANケーブル(RJ-45規格)を接続します。LANポートLEDの表示内容は次の表をご参照ください。

LANポートLED

アクティビティ/リンクLED		スピードLED	
状態	説明	状態	説明
OFF	リンクなし	OFF	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
点滅	データ送受信中	グリーン	1 Gbps

アクティビティ
リンクLED

スピード
LED



LANポート

3. **ライン入力ポート(ライトブルー)**:アナログオーディオソースを接続することで音声の入力/録音をすることができます。
4. **ライン出力ポート(ライム)**:ヘッドホンやスピーカーなどのアナログ出力デバイスを接続します。4、6、8チャンネルのマルチチャンネルオーディオ出力の場合、このポートはフロントスピーカー出力となります。
5. **マイクポート(ピンク)**:マイクなどの録音デバイスを接続します。



2、4、6、8チャンネル構成時のオーディオポートの機能については、次のオーディオ構成表を参考にしてください。

オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	6チャンネル	8チャンネル
ライトブルー (リアパネル)	ライン入力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
ライム(リアパネル)	ライン出力	フロントスピーカー出力	フロントスピーカー出力	フロントスピーカー出力
ピンク(リアパネル)	マイク入力	マイク入力	バス/センター	バス/センター
ライム (フロントパネル)	-	-	-	サイドスピーカー出力



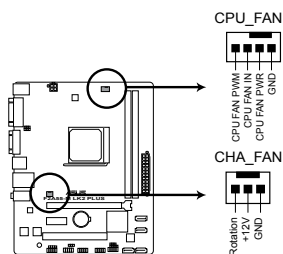
8チャンネルオーディオ出力の構成には、フロントパネルにHDオーディオモジュールが搭載されたケースをご使用ください。

6. **USB 2.0ポート1/2:**USB 2.0デバイスを接続することができます。
7. **USB 2.0ポート3/4:**USB 2.0デバイスを接続することができます。
8. **VGA出力ポート:**VGAモニター等のVGA対応デバイスを接続します。
9. **DVI-D出力ポート:**DVI-Dと互換性のあるデバイスを接続します。DVI-D信号をRGB信号に変換してCRTモニターに出力することはできません。また、DVI-DはDVI-Iとは互換性がありません。また、HDCP互換ですので、HD DVDやBlu-rayディスク等の保護コンテンツの再生も可能です。
10. **PS/2キーボード(パープル):**PS/2キーボードを接続します。

1.8.2 内部コネクタ

1. CPUファン、ケースファンコネクタ (4ピンCPU_FAN、3ピンCHA_FAN)

プロセッサクーラーなどの冷却ファンの電源ケーブルを接続します。接続する際は、各ケーブルの黒いワイヤーがコネクタのアースピン(GND)と接続されていることをご確認ください。



F2A55-M LK2 PLUS Fan connectors



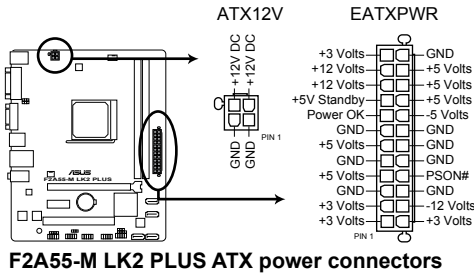
PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが破損する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。また、吸/排気ファンの電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクタにジャンパキャップを取り付けないでください。



- CPU_FANコネクタはファン電力2A(24W)までのCPUファンをサポートしています。
- CPU_FANコネクタはASUS Fan Xpert機能をサポートしています。

2. ATX電源コネクタ (24ピンEATXPWR、4ピンATX12V)

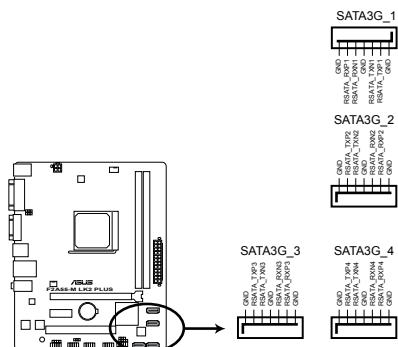
ATX電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



- システムの快適なご利用のために容量 300W以上のATX 12Vバージョン2.0規格以降の電源ユニットを使用することをお勧めします。
- 電源プラグ(メインコネクタ)が20ピンと4ピンの分離したタイプの電源ユニットを使用する場合、20ピン電源プラグの+12Vラインが15A以上の電流容量を供給できる、300W以上の電源ユニットを使用してください。電流容量が不足している場合、システムは正常に動作しません。
- ATX12Vコネクタには必ずCPU電源供給用の4ピンプラグを接続してください。4ピンプラグを接続しない場合システムは動作しません。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。
- システムに最低限必要な電源が分からない場合は、ASUSオフィシャルサイトの「[電源用ワット数計算機](http://support.asus.com/PowerSupplyCalculator/PSCalculator.aspx?SLanguage=ja-jp)」をご使用ください。

3. SATA 3Gb/sコネクタ (7ピンSATA3G_1-4)

SATA 3Gb/s ケーブルを使用し、SATA記憶装置と光学ドライブを接続します。SATA 記憶装置を取り付けた場合、RAIDアレイ(0、1、5、10)、JBODを構築することができます。



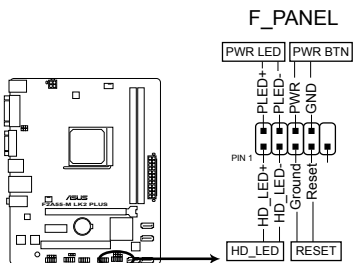
F2A55-M LK2 PLUS SATA 3.0Gb/s connectors



- これらコネクタはデフォルト設定で **[AHCI]** に設定されています。SATA RAIDを構築する場合は、UEFI BIOSの「**OnChip SATA Type**」を **[RAID]** に設定してください。詳細はセクション「**2.5.2 SATA設定**」をご参照ください。
- SATA記憶装置を使用する場合はWindows® XP Service Pack 3以降のOSをご使用ください。また、SATA RAID機能はWindows® XP Service Pack 3以降のOSでのみ使用可能です。
- ホットプラグとNCQを使用する場合は、UEFI BIOSの「**OnChip SATA Type**」を **[AHCI]** に設定してください。詳細はセクション「**2.5.2 SATA設定**」をご参照ください。

4. システムパネルコネクタ (20-8ピン PANEL)

このコネクタはPCケースに付属する各機能に対応しています。



F2A55-M LK2 PLUS System panel connector

- **システム電源LED (2ピン PLED)**

システム電源LED用2ピンコネクタです。PCケース電源LEDケーブルを接続してください。システムの電源LEDはシステムの電源をONにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **ハードディスクドライブアクティビティ LED (2ピン IDELED)**

ハードディスクドライブアクティビティLED用2ピンコネクタです。ハードディスクドライブアクティビティLEDケーブルを接続してください。ハードディスクアクティビティLEDは、記憶装置がデータの読み書きを行っているときに点灯、または点滅します。

- **電源ボタン/ソフトオフボタン (2ピン PWRBTN)**

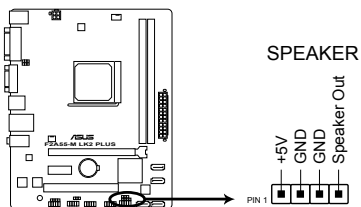
システムの電源ボタン用2ピンコネクタです。電源ボタンを押すとシステムの電源がONになります。OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にOFFになります。

- **リセットボタン (2ピン RESET)**

リセットボタン用2ピンコネクタです。システムの電源をOFFにせずにシステムを再起動します。

5. ビープスピーカーコネクタ (4ピンSPEAKER)

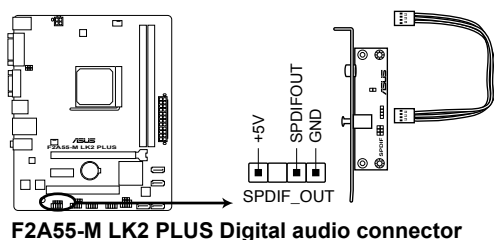
システム警告スピーカー用4ピンコネクタです。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を発します。



F2A55-M LK2 PLUS Speaker Out Connector

6. デジタルオーディオコネクタ (4-1ピン SPDIF_OUT)

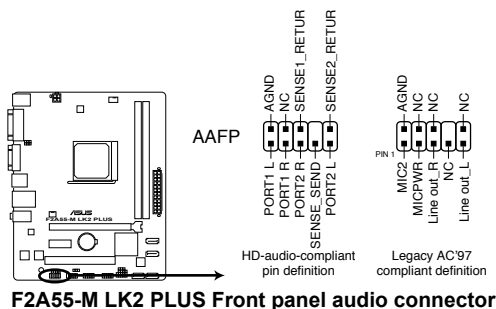
S/PDIFポート追加用のコネクタです。S/PDIF出力モジュールを接続します。S/PDIF出力モジュールのケーブルをこのコネクタに接続し、PCケースの後方にあるスロットにモジュールを設置します。



S/PDIF出力モジュール、S/PDIF出力モジュールケーブルは別途お買い求めください。

7. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1ピン AAFP)

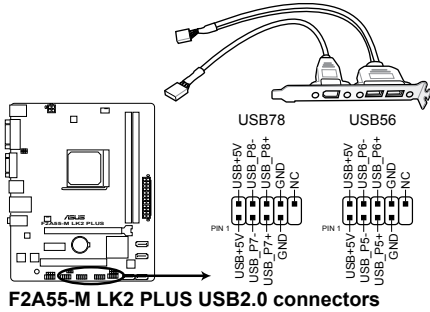
PCケースのフロントパネルオーディオI/Oモジュール用コネクタで、HDオーディオ及びAC'97オーディオをサポートしています。オーディオI/Oモジュールケーブルの一方をこのコネクタに接続します。



- HDオーディオ機能を最大限に活用するため、HD フロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HDフロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、UEFI BIOSで「**Front Panel Type**」の項目を **[HD]** に設定します。AC'97フロントパネルオーディオモジュールを接続する場合は、この項目を **[AC97]** に設定します。デフォルト設定は **[HD]** に設定されています。詳細はセクション「**2.5.5 オンボードデバイス設定**」をご参照ください。
- フロントパネルオーディオI/Oモジュールは別途お買い求めください。

8. USB 2.0コネクター (10-1ピンUSB56、USB78)

USB 2.0ポート用のコネクターです。USB 2.0モジュールのケーブルをこれらのコネクターに接続します。このコネクターは最大 480 Mbps の接続速度を持つUSB 2.0規格に準拠しています。



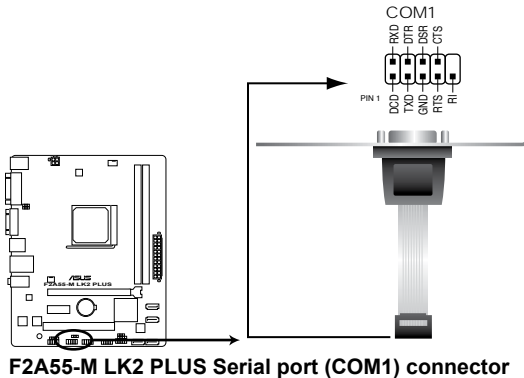
IEEE 1394用ケーブルをUSBコネクターに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。



USB 2.0モジュールは別途お買い求めください。

9. シリアルポートコネクター (10-1ピンCOM)

シリアルポートモジュールのケーブルを接続し、モジュールをバックパネルの任意のスロットに設置します。



シリアルポートモジュールは別途お買い求めください。

1.9 ソフトウェア

1.9.1 OSをインストールする

本製品はWindows® XP / Vista / 7 / 8 (32bit/64bit)オペレーティングシステムをサポートしています。ハードウェアの機能を最大限に活用するために、OSは定期的にアップデートしてください。



- 操作方法や設定方法はご使用のオペレーティングシステムにより異なる場合があります。詳しい操作方法などは、ご利用のオペレーティングシステムマニュアルをご覧ください。
- 互換性とシステムの安定性のために、ドライバーをインストールする前に、Windows®XPは Service Pack 3以降、Windows® Vistaは Service Pack 1 以降のサービスパックが適用されていることをご確認ください。
- Windows® 8を使用する場合は、Windows® 8の機能を完全にサポートするためにUEFI BIOSを最新版へアップデートし、Windows® 8対応のドライバーとソフトウェアを使用してください。

1.9.2 サポートDVD情報

マザーボードに付属のサポートDVDには、マザーボードを利用するために必要なドライバー、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のデータは、ASUSオフィシャルサイトをご覧ください。(http://www.asus.co.jp)

サポートDVDを実行する

サポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの自動実行機能(オートラン)が有効になっていれば、メニューウィンドウが自動的に表示されます。メニュータブを選択し、インストールする項目を選択してください。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のもものと異なる場合があります。



サポートDVDとマザーボードの情報を表示します。

インストールする項目を選択します。



自動実行が有効になっていない場合は、サポートDVDのBINフォルダーからASSETUP.EXEを選択してください。ASSETUP.EXEをダブルクリックすれば、メニューウィンドウが表示されます。

UEFI BIOS設定

2

2.1 UEFI BIOSの管理と設定



万一の場合に備え、UEFI BIOSのバックアップをUSBフラッシュメモリーに保存しておくことを推奨します。BIOSファイルはASUSオフィシャルサイトからダウンロードすることが可能です。また、ASUS BIOS Updater(Bupdater Utility)を使用してバックアップを行うことも可能です。

2.1.1 ASUS Update

ASUS Update はWindows® 環境でマザーボードのUEFI BIOSの管理、保存、更新が可能です。



- ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。
- ASUS Update はマザーボードに付属のサポートDVDに収録されています。

ASUS Update をインストールする

手順

1. マザーボードに付属のサポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの自動実行機能(オートラン)が有効の場合、サポートDVDのプログラムが自動的に実行されます。
2. 「ユーティリティ」タブから「**ASUS AI Suite II**」をクリックしASUS AI Suite II のインストールを開始します。
3. 画面の指示に従って、インストールを行います。



本ユーティリティでUEFI BIOSの更新を行う場合は、Windows® アプリケーションを全て終了してから行ってください。

UEFI BIOSを更新する

手順

1. Windows® デスクトップから、「スタート」→「すべてのプログラム」→「ASUS」→「AI Suite II」→「AI Suite II X.XX.XX」の順にクリックし、AI Suite II ユーティリティを起動します。AI Suite II メインメニューバーが表示されます。
2. メインメニューバーの「更新」ボタンをクリックし、メニューからASUS Updateをクリックします。ASUS Updateメニューが画面が表示されます。表示されたリストから、任意のアップデート方法を選択します。

インターネットから更新する

- a. BIOS更新方法から「**BIOSをインターネットから更新**」を選択し「**進む**」をクリックします。
- b. BIOSファイルをダウンロードするFTPサイトを選択し「**進む**」をクリックします。UEFI BIOSのダウングレード機能とバックアップ機能を有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
- c. ダウンロードしたいバージョンを選択し、「**進む**」をクリックします。

ファイルから更新する

- a. BIOS更新方法から「**ファイルからBIOSを更新**」を選択し「**進む**」をクリックします。
 - b. 「**参照**」をクリックするか、または自動的に表示されるウインドウからアップデートに使用するBIOSファイルを選択して「**開く**」をクリックし、次に「**進む**」をクリックします。
3. 画面の指示に従い、更新作業を完了します。



ASUS Update ユーティリティをインターネットから最新版に更新することができます。すべての機能を利用できるよう、常に最新版をご使用ください。

2.1.2 ASUS EZ Flash 2 Utility

ASUS EZ Flash 2 Utility は、起動フロッピーディスクまたはOSベースのユーティリティを使うことなく、UEFI BIOSを短時間で更新することができます。



このユーティリティをご利用になる前に、最新のBIOSをASUSのオフィシャルサイトからダウンロードしてください。(http://www.asus.co.jp)

EZ Flash 2 を使用してUEFI BIOSを更新する

1. BIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーをシステムにセットします。
2. UEFI BIOS UtilityのAdvanced Modeを起動し、**Tool**メニューの「**ASUS EZ Flash 2 Utility**」を選択します。
3. <Tab> を押しDrive Info フィールドに切り替えます。
4. マウス、またはカーソルキーでBIOSファイルを保存したUSBフラッシュメモリーを選択し<Enter>を押します。
5. <Tab> を押しFolder Info フィールドに切り替えます。
6. マウス、またはカーソルキーでBIOSファイルを選択し、<Enter>を押してUEFI BIOSの更新を実行します。更新作業が完了したら、システムを再起動します。



-
- FAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションのUSBフラッシュメモリーのみサポートします。
 - UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。
-

2.1.3 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 は UEFI BIOS の自動復旧ツールで、UEFI BIOS の更新時に障害を起こした場合や破損した BIOS ファイルを復旧します。破損した BIOS ファイルはサポート DVD、または BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリーで更新することができます。



- 本機能を使用する前に、USB フラッシュメモリーに保存された BIOS ファイルの名前を F2A55-M LK2 の場合は「**F2A5MLK2.CAP**」
F2A55-M LK2 PLUS の場合は「**F2A5MK2P.CAP**」に変更してください。
- サポート DVD に収録の BIOS ファイルは最新のものではない場合もあります。最新バージョンの UEFI BIOS は ASUS オフィシャルサイトで公開しております。USB フラッシュメモリーにダウンロードしてご使用ください。(http://www.asus.co.jp)

UEFI BIOS を復旧する

手順

1. システムの電源を ONI にします。
2. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリー、またはサポート DVD をシステムにセットします。
3. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリー/サポート DVD の検出が始まります。検出されると、BIOS ファイルを読み込み、ASUS EZ Flash 2 が自動的に起動します。
4. UEFI BIOS Utility でデフォルト設定をロードするように指示が表示されます。システムの互換性/安定性の観点から、UEFI BIOS のデフォルト設定をロードすることをお勧めします。



UEFI BIOS の更新や復旧中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOS が破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOS アップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

2.1.4 ASUS BIOS Updater

ASUS BIOS Updater は、DOS環境でUEFI BIOSを更新するツールです。また、使用中のBIOSファイルのコピーも可能ですので、UEFI BIOSの更新中にUEFI BIOSが作動しなくなったときやBIOSファイルが破損したとき用のバックアップファイルとしても利用可能です。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。

更新の前に

1. サポートDVDとFAT32/16 ファイルシステムをもつ、シングルパーティションのUSBフラッシュメモリーを手元に準備します。
2. BIOSファイルとBIOS Updater をASUSオフィシャルサイトからダウンロードし、USBフラッシュメモリーに保存します。(http://www.asus.co.jp)

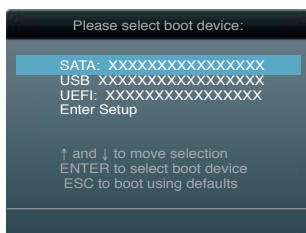


- DOS環境ではNTFSはサポートしません。BIOSファイルとBIOS Updater をNTFSフォーマットの記憶装置またはUSBフラッシュメモリーに保存しないでください。
- BIOSファイルのサイズはフロッピーディスクの上限である1.44MBを超えるため、フロッピーディスクに保存することはできません。

3. コンピューターをOFFにし、全てのSATA記憶装置を取り外します。(この作業は必須ではありませんが手順簡略化のため推奨します)

DOS環境でシステムを起動する

1. BIOSファイルとBIOS Updater を保存したUSBフラッシュメモリーをUSBポートに接続します。
2. コンピューターを起動しPOST中に <F8> を押します。続いてBoot Device Select Menu が表示されたらサポートDVDを光学ドライブに挿入し、カーソルキーで光学ドライブを選択して<Enter>を押します。



3. **Make Disk** メニューが表示されたら、項目の番号を押し「**FreeDOS command prompt**」の項目を選択します。
4. FreeDOSプロンプトで「**d:**」と入力し、<Enter> を押してドライブをDrive C (光学ドライブ) からDrive D (USBフラッシュメモリー) に切り替えます。SATA記憶装置を接続している場合ドライブパスは異なる場合があります。



BIOSファイルを更新する

手順

1. FreeDOSプロンプトで、「**bupdater /pc /g**」と入力し、<Enter>を押します。

```
D:\>bupdater /pc /g
```

2. 次のようなBIOS Updater 画面が表示されます。

ASUSTek BIOS Updater for DOS V1.30

Current ROM	Update ROM
BOARD: F2A55-M LK2 PLUS	BOARD: Unknown
VER: 0201	VER: Unknown
DATE: 07/13/2012	DATE: Unknown

PATH: A:\

A:	F2A5MKP2.CAP	8390656	2012-07-13	17:30:48

Note

[Enter] Select or Load [Tab] Switch [V] Drive Info
[Up/Down/Home/End] Move [B] Backup [Esc] Exit

3. <Tab>でフィールドを切り替え、BIOSファイルの保存されたUSBフラッシュメモリードライブを選択し<Enter>を押します。次に、カーソルキーで更新に使用するBIOSファイルを選択して<Enter>を押します。BIOS Updater が選択したBIOSファイルをチェックし、次のような確認画面が表示されます。

Are you sure to update BIOS?

Yes No

4. 更新を実行するには「**Yes**」を選択し<Enter>を押します。UEFI BIOSの更新が完了したら<ESC>を押してBIOS Updater を閉じます。続いてコンピューターを再起動します。



UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。UEFI BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。



- BIOS Updater バージョン1.30 以降では、更新が終了すると、自動的にDOSプロンプトに戻ります。
- システムの互換性/安定性の観点から、更新後は必ずデフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定のロードは「Exit」の「Load Optimized Defaults」の項目で実行します。詳細はセクション「2.9 終了メニュー」をご参照ください。
- SATA記憶装置を取り外した場合は、BIOSファイル更新後に全てのSATA記憶装置を接続してください。
- サポートDVDからの起動時、画面に「Press Enter to boot from the DVD/CD」と表示される場合は、5秒以内に<Enter>を押してください。5秒を経過するとシステムは通常の起動デバイスからロードを開始します。
- コマンドはBIOS Updater のバージョンにより異なる場合があります。詳細はASUSオフィシャルサイトからダウンロードしたBIOS Updater ファイル内のテキストファイルをご確認ください。

2.2 UEFI BIOS Utility

UEFI BIOS Utility ではUEFI BIOSの更新やパラメーターの設定が可能です。UEFI BIOS Utility の画面にはナビゲーションキーとヘルプが表示されます。

システム起動時にUEFI BIOS Utilityを起動する

手順:

- 起動時の自己診断テスト (POST)の段階で <Delete> を押します。<Delete> を押さない場合は、POST実行後に起動デバイスからオペレーティングシステムの読み込みが開始されます。

POSTの後でUEFI BIOS Utility を起動する

手順:

- <Ctrl + Alt + Delete> を同時に押してシステムを再起動し、POST実行中に <Delete> を押します。
- ケース上のリセットボタンを押してシステムを再起動し、POST実行中に <Delete> を押します。
- 電源ボタンを押してシステムの電源をOFFにした後、システムを再度ONにしPOST実行中に <Delete> を押します。ただし、これは最初の2つの方法が失敗した場合の最後の手段として行ってください。



OSの動作中に電源ボタンやリセットボタン、<Ctrl + Alt + Delete> 等でリセットを行うと、データロスやOSの不具合の原因となります。OSを閉じる際は、通常の方法でシステムをシャットダウンすることをお勧めします。



- 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。
- サポートDVDに収録のBIOSファイルは最新のものではない場合もあります。最新バージョンのUEFI BIOSはASUSオフィシャルサイトで公開しております。USBフラッシュメモリーにダウンロードしてご使用ください。(http://www.asus.co.jp)
- マウスでUEFI BIOS Utilityの操作を行う場合は、USBマウスをマザーボードに接続してからシステムの電源をONにしてください。
- 設定を変更した後システムが不安定になる場合は、デフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定に戻すには、終了メニューの下の「Load Optimized Defaults」を選択します。(詳細は2.9 終了メニュー」参照)
- 設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOSクリアを実行し、マザーボードのリセットを行ってください。Clear CMOSジャンプスイッチの位置は「1.7 ジャンプ」をご参照ください。
- UEFI BIOS Utility はBluetoothデバイスをサポートしません。

UEFI BIOSメニュー画面

UEFI BIOS Utility は、EZ Mode と Advanced Mode の2つのモードで使用することができます。EZ Mode/Advanced Mode 画面の「Exit/Advanced Mode」ボタン、または「終了」メニューでモードを変更することができます。

EZ Mode

デフォルト設定では、UEFI BIOS Utility を起動すると、EZ Mode 画面が表示されます。EZ Mode では、基本的なシステム情報の一覧が表示され、表示言語やシステムパフォーマンスモード、ブートデバイスの優先順位などが設定できます。Advanced Mode を開くには、「Exit/Advanced Mode」をクリックし、「Advanced Mode」または<F7>を選択します。



UEFI BIOS Utility 起動時に表示する画面は、変更可能です。詳細はセクション「2.7 ブートメニュー」の「Setup Mode」をご参照ください。

表示言語選択

終了メニュー

温度/電圧/ファンスピード表示

ASUS UEFI BIOS Utility - EZ Mode

22:58

Tuesday 10/17/04/2011

BIOS Version : 0202

CPU Type : AMD 60-5600K (60) with Radeon(TM) HD Graphics Speed : 3600 MHz

Total Memory : 4096 MB (DDR3 1333MHz)

Temperature

Voltage

Fan Speed

System Performance

Performance Energy Saving Normal

Boot Priority

Use the mouse to drag or keyboard to navigate to decide the boot priority.

Shortcut (F8) Advanced Mode (F7) Back Area (F9) Default (F8)

ショートカット

ブートデバイスの優先順位を選択

Advanced Mode

モードパフォーマンス

Normal モード

ブートデバイスの優先順位を選択

デフォルトをロード

ASUS Optimal モード



- ブートデバイスの優先順位のオプションは、取り付けたデバイスにより異なります。
- 「Boot Menu(F8)」ボタンは、ブートデバイスがシステムに取り付けられている場合のみ利用可能です。

Advanced Mode

Advanced Mode は上級者向けのモードで、各種詳細設定が可能です。下の図はAdvanced Mode の表示内容の一例です。各設定項目の詳細は、本マニュアル以降の記載をご参照ください。



EZ Mode を起動するには、「Exit」をクリックし、「ASUS EZ Mode」を選択します。



メニューバー

画面上部のメニューバーには次の項目があり、主な設定内容は以下のとおりです。

Main	基本システム設定の変更
Ai Tweaker	オーバークロックに関する設定の変更
Advanced	拡張システム設定の変更
Monitor	システム温度、電力の状態の表示、ファンの各設定の変更
Boot	システム起動設定の変更
Tool	独自機能の設定オプション
Exit	終了オプションとデフォルト設定値のロード

メニュー

メニューバーの各項目を選択することにより、各項目に応じた設定メニューが表示されます。例えば、メニューバーで「Main」を選択すると、「Main」の設定メニューが画面に表示されます。

メニューバーのAi Tweaker、Advanced、Monitor、Boot、Tool、Exitにも、それぞれ設定メニューがあります。

バックボタン

サブメニューの項目が開かれている場合にこのボタンが表示されます。マウスでこのボタンをクリックするか<ESC>を押すと、メインメニュー、または前の画面に戻ることができます。

サブメニュー

サブメニューが含まれる項目の前には、「>」マークが表示されます。サブメニューを表示するには、マウスで項目を選択するか、カーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押します。

ポップアップウィンドウ

マウスで項目を選択するか、カーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押すと、設定可能なオプションと共にポップアップウィンドウが表示されます。

スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されます。マウスやカーソルキー、または <Page Up>/<Page Down> で、画面をスクロールすることができます。

ナビゲーションキー

UEFI BIOSメニュー画面の右下には、メニューの操作するためのナビゲーションキーが表示されています。表示されるナビゲーションキーに従って、各項目の設定を変更します。

ヘルプ

メニュー画面の右上には、選択した項目の簡単な説明が表示されます。

構成フィールド

構成フィールドには各項目の現在設定されている状態や数値が表示されます。ユーザーによる変更が不可能な項目は、選択することができません。

設定可能なフィールドは選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、そのフィールドをマウスで選択するか、表示されるナビゲーションキーに従い数値を変更し、<Enter>を押して決定します。



<F12>を押してUEFI BIOS画面のスクリーンショットを撮影し、USBフラッシュメモリーに保存することができます。

2.3 メインメニュー

UEFI BIOS UtilityのAdvanced Modeを起動するとメインメニューでは基本的なシステム情報が表示され、システムの日付、時間、言語、セキュリティの設定が可能です。



2.3.1 System Language [English]

オプションからUEFI BIOS Utilityの表示言語を選択することができます。

設定オプション: [English] [Français] [Deutsch] [简体中文] [繁體中文] [日本語] [Español] [Русский]

2.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システムの日付を設定します。

2.3.3 System Time [xx:xx:xx]

システムの時間を設定します。

2.3.4 Security

システムセキュリティ設定の変更が可能です。



- パスワードを忘れた場合、CMOSクリアを実行しパスワードを削除します。Clear CMOSジャンプスイッチの位置はセクション「1.7 ジャンプ」をご参照ください。
- パスワードを削除すると、画面上の「Administrator」または「User Password」の項目にはデフォルト設定の「Not Installed」と表示されます。パスワードを再び設定すると、「Installed」と表示されます。

Administrator Password

管理者パスワードを設定した場合は、システムにアクセスする際に管理者パスワードの入力を要求するように設定することをお勧めします。

管理者パスワードの設定手順

1. 「**Administrator Password**」を選択します。
2. 「**Create New Password**」ボックスにパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

管理者パスワードの変更手順

1. 「**Administrator Password**」を選択します。
2. 「**Enter Current Password**」ボックスに現在のパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**Create New Password**」ボックスに新しいパスワードを入力し、<Enter>を押します。
4. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

管理者パスワードの消去も、管理者パスワードの変更時と同じ手順で行いますが、パスワードの作成/確認を要求された後、なにも入力せずに<Enter>を押します。パスワード消去後は、「**Administrator Password**」の項目は「**Not Installed**」と表示されます。

User Password

ユーザーパスワードを設定した場合、システムにアクセスするときにユーザーパスワードを入力する必要があります。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「**User Password**」を選択します。
2. 「**Create New Password**」にパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

ユーザーパスワードの変更手順

1. 「**User Password**」を選択し、<Enter>を選択します。
2. 「**Enter Current Password**」に現在のパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. 「**Create New Password**」に新しいパスワードを入力し、<Enter>を押します。
4. パスワードの確認のため、「**Confirm New Password**」ボックスに先ほど入力したパスワードと同じパスワードを入力し、<Enter>を押します。

ユーザーパスワードの消去も、ユーザーパスワードの変更時と同じ手順で行いますが、パスワードの作成/確認を要求された後、なにも入力せずに<Enter>を押します。パスワード消去後は、「**User Password**」の項目は「**Not Installed**」と表示されます。

2.4 Ai Tweakerメニュー

オーバークロックに関連する設定を行います。



Ai Tweakerメニューで設定値を変更する際はご注意ください。不正な値を設定するとシステム誤作動の原因となります。



このセクションの設定オプションは取り付けられたCPUとメモリーにより異なります。



画面をスクロールすることですべての項目を表示することができます。



Target CPU Speed : xxxxMHz

設定保存後のTurbo Core時最大APU動作周波数の目安が表示されます。

Target DRAM Speed : xxxxMHz

設定保存後の最大メモリー動作周波数の目安が表示されます。

2.4.1 Ai Overclock Tuner [Auto]

APUのオーバークロックオプションを選択して、APUの内部周波数を設定することができます。オプションは以下のとおりです。

[Auto] システムに最適な設定をロードします。

[Manual] オーバークロックのパラメーターを手動で設定することができます。

APU Frequency [XXX]

「Ai Overclock Tuner」の項目を [Manual] または [D.O.C.P.] にすると表示されます。ベースクロックを調節し、システムパフォーマンスを強化します。数値の調節は <+> <-> で行います。または数字キーで直接入力します。

設定範囲は 90.0MHz ~ 300.0MHz です。

2.4.2 Memory Frequency [Auto]

メモリーの動作周波数を設定します。

設定オプション: [Auto] [DDR3-800MHz] [DDR3-1066MHz] [DDR3-1333MHz] [DDR3-1600MHz] [DDR3-1866MHz] [DDR3-2133MHz] [DDR3-2400MHz]



メモリー周波数の設定値が高すぎると、システムが不安定になる場合があります。不安定になった場合は、設定をデフォルト設定値に戻してください。

2.4.3 APU Multiplier [Auto]

APUの動作倍率を調整することができます。比率の調節は <+> <-> で行います。

設定可能範囲はAPUにより異なります。

2.4.4 NB Frequency [Auto]

ノースブリッジの動作周波数を自動的に調節します。比率の調節は <+> <-> で行います。

2.4.5 EPU Power Saving Mode [Disabled]

省電力機能「EPU」の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

EPU Setting [Auto]

この項目は「EPU Power Saving MODE」を有効にすると表示され、EPU省電力モードを選択できます。

設定オプション: [Auto] [Light Power Saving Mode] [Medium Power Saving Mode] [Max Power Saving Mode]

2.4.6 DRAM Timing Control

メモリーのアクセスタイミングに関する各処理時間を設定することができます。数値の調節は <+> <-> で行います。デフォルト設定値に戻すには、キーボードで **[auto]** と入力し、<Enter>を押します。



この項目の設定を変更するとシステムが不安定になる場合があります。不安定になった場合は、デフォルト設定に戻してください。

2.4.7 CPU Voltage [Offset Mode]

[Offset Mode] APU固有の基準値に対して電圧を設定します。

CPU Offset Mode Sign [+]

[+] CPU Offset Voltageで指定した値の電圧を上げます。

[-] CPU Offset Voltageで指定した値の電圧を下げます。

CPU Offset Voltage [Auto]

この項目は「**CPU Voltage**」を **[Offset Mode]** にすると表示され、オフセット電圧を調節します。設定範囲は 0.00625V~0.500Vで、0.00625V刻みで調節します。



APU電圧の設定を行う前にAPUの説明書をご参照ください。設定値が高すぎるとAPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。

VDDNB Offset Mode Sign [+]

[+] VDDNB Offset Voltageで指定した値の電圧を上げます。

[-] VDDNB Offset Voltageで指定した値の電圧を下げます。

VDDNB Offset Voltage [Auto]

VDDNBオフセット電圧を設定します。設定範囲は 0.00625V~0.500Vで、0.00625V刻みで調節します。

2.4.8 DRAM Voltage [Auto]

メモリー電圧を設定します。

設定範囲は1.35V~ 1.65Vで、0.15V刻みで調節します。

2.4.9 SB 1.1V Voltage [Auto]

FCH電圧を設定します。

設定範囲は1.1V~ 1.22Vで、0.04V刻みで調節します。



-
- 各項目はリスクの度合いに応じて色分けして表示されます。
 - 電圧を高く設定する場合は、冷却システムを増強することをお勧めします。
-

2.4.10 DIGI+ VRM

CPU Load Line Calibration [Auto]

APUへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、APUとVRMからの発熱量は増加します。この項目では、電圧の範囲を次の%で設定可能です。

0% (Regular)、60% (Medium)、80% (High)、100% (Extreme)

設定オプション: [Auto] [Regular] [Medium] [High] [Extreme]



実際のパフォーマンスは取り付けられたCPUにより異なります。

CPU/NB Load Line Calibration [Auto]

メモリーコントローラーへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。

設定オプション: [Auto] [Regular] [High] [Extreme]

CPU Current Capability [100%]

オーバークロック用にAPUへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、電圧調整モジュール(VRM)の消費電力は増加します。

設定オプション: [100%] [110%] [120%] [130%]

CPU/NB Current Capability [100%]

オーバークロック用にメモリーコントローラーへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、電圧調整モジュールの消費電力は増加します。

設定オプション: [100%] [110%] [120%] [130%]

CPU Power Phase Control [Standard]

動作中のAPU用電圧調整モジュール(VRM)数の制御方法を設定します。システム負荷が大きい環境でフェーズ数を増やすと、過渡応答と放熱システムのパフォーマンスが向上します。システム負荷が小さい環境でフェーズ数を減らすと、VRM効率が上がります。

[Standard] APUの負荷に応じてフェーズをコントロールします。

[Optimized] ASUSが提供する最適なフェーズ調節プロファイルをロードします。

[Extreme] フルフェーズモードを実行します。

[Manual Adjustment] 手動調節します。

Manual Adjustment [Fast]

「CPU Power Phase Control」を[Manual Adjustment]に設定すると表示され、応答速度を選択することができます。

設定オプション: [Ultra Fast] [Fast] [Medium] [Regular]

CPU Voltage Frequency [Auto]

APU用電圧調整モジュール(VRM)のスイッチング周波数の制御方法を設定します。スイッチング周波数を高くすることでVRMの過渡応答を高めることができます。

[Auto] Spread Spectrumを設定することができます。

[Manual] 固定周波数を50 kHz刻みで200 kHz ~ 350 kHzの範囲内で調節します。

CPU Power Duty Control [T.Probe]

APU用電圧調整モジュール(VRM)の制御方法を設定します。

設定オプション:[T. Probe] - 動作中の全VRM回路の温度バランスを維持します。

[Extreme] - 動作中の全VRM回路の電流バランスを維持します。



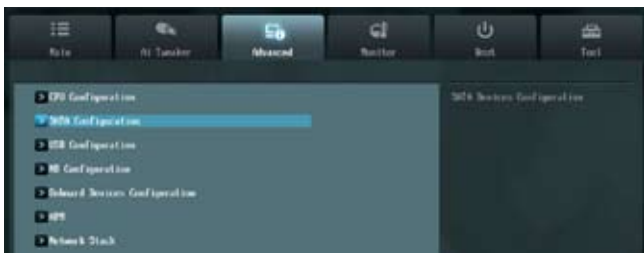
DIGI+ VRMに関連する項目のパラメーターを調整する場合は、プロセッサクーラーやケースファンなどのサーマルモジュールを必ず取り付けてください。

2.5 アドバンスドメニュー

APU、チップセット、オンボードデバイスなどの詳細設定の変更ができます。



アドバンスドメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。設定の変更は十分にご注意ください。



2.5.1 CPU 設定

APUに関する設定をすることができます。



この画面に表示される項目は、取り付けたAPUにより異なります。

AMD PowerNow function [Enabled]

AMD PowerNow 機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

NX Mode [Enabled]

No-execute page protection(NX)機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

SVM [Enabled]

AMD SVM(Security and Virtual Machine architecture)の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

CPB Mode [Auto]

CPB (Core Performance Boost) モードの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Auto]

C6 Mode [Disabled]

C6 モードの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

IOMMU [Disabled]

AMD I/O Virtualization Technologyの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Bank Interleaving [Disabled]

Memory Bank Interleaving 機能を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Channel Interleaving [Disabled]

Memory Channel Interleaving 機能を設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

2.5.2 SATA設定

UEFI BIOS Utility の起動中は、UEFI BIOSは自動的にシステムに取り付けられたSATAデバイスを検出します。取り付けられていない場合は、SATA Port の項目は「**Not Present**」と表示されます。

OnChip SATA Channel [Enabled]

オンボードチャンネルSATAポートの有効/無効 を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

OnChip SATA Type [AHCI]

SATAタイプを選択することができます。

[IDE] SATAデバイスをIDEデバイスとして認識させます。

[RAID] SATAデバイスでRAIDアレイを構築することができます。

[AHCI] SATAデバイス本来の性能を発揮させます。このモードを選択することによりホットプラグ機能とネイティブ・コマンド・キューイング (NCQ) をサポートすることができます。

Board SATA RAID ROM [Legacy ROM]

「**OnChip SATA Type**」の項目を [RAID] に設定すると表示されます。

[Disabled] この機能を無効にします。

[Legacy ROM] レガシーOSを使用する場合、このオプションを選択します。

[UEFI Driver] UEFI OSを使用する場合、このオプションを選択します。

S.M.A.R.T. Status Check [Enabled]

自己診断機能 S.M.A.R.T.(Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology)の有効/無効を設定します。記憶装置で読み込み/書き込みエラーが発生すると、POST実行中に警告メッセージが表示されます。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

2.5.3 USB設定

USB関連の機能を変更することができます。



「USB Devices」の項目には自動検出した値が表示されます。USB デバイスが検出されない場合は「None」と表示されます。

USB Device Enable [Enabled]

すべてのUSBポートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Legacy USB Support [Enabled]

[Enabled] レガシーOS用にUSBデバイスのサポートを有効にします。

[Disabled] USBデバイスはUEFI BIOS Utilityでのみ使用できます。

[Auto] 起動時にUSBデバイスを検出します。USBデバイスが検出されると、USBコントローラーのレガシーモードが有効になり、検出されないレガシーUSBのサポートは無効になります。

EHCI Hand-off [Disabled]

[Enabled] EHCI ハンドオフ機能のないOSでも問題なく動作させることができます。

[Disabled] この機能を無効にします。

USB Single Port Control

個々にUSBポートの有効/無効を設定することができます。USBポートの位置については「1.3.3 マザーボードのレイアウト」または「1.8.2 内部コネクタ」をご覧ください。

2.5.4 ノースブリッジ設定

IGFX Multi-Monitor [Disabled]

追加VGAデバイス用に統合型グラフィックスのマルチモニターサポートを設定します。この機能を有効にした場合、システムメモリーには統合型グラフィックス用のメモリーサイズが割り当てられます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]



AMD Radeon™ デュアル・グラフィックスを使用する際は、事前に「IGFX Multi-Monitor」を [Enabled] に設定する必要があります。

Primary Video Device [PCIe / PCI Video]

プライマリのグラフィックデバイスとして使用するグラフィックコントローラーを選択します。統合型グラフィックスをプライマリ出力デバイスとして使用する場合は、この項目を [iGFX Video] に設定します。

設定オプション: [iGFX Video] [PCIe / PCI Video]

Integrated Graphics [Auto]

統合型グラフィックスコントローラーの動作を設定します。

設定オプション: [Auto] [Force]

UMA Frame Buffer Size [Auto]

この設定は前の項目を [Force] に設定すると表示され、メインメモリーと共有するビデオ待メモリーサイズを設定します。

設定オプション: [Auto] [32M] ~ [2G]

2.5.5 オンボードデバイス設定

HD Audio Device [Enabled]

- [Enabled] High Definition Audio コントローラーを有効にします。
[Disabled] このコントローラーを無効にします。



次の項目は「**HD Audio Controller**」を [Enabled] に設定すると表示されます。

Front Panel Type [HD]

フロントパネルオーディオモジュールがサポートするオーディオ規格により、フロントパネルオーディオコネクタ (AAFP) モードを AC'97 またはHDオーディオに設定することができます。

- [HD] フロントパネルオーディオコネクタ (AAFP) モードをHDオーディオにします。
[AC'97] フロントパネルオーディオコネクタ (AAFP) モードを AC'97 にします。

SPDIF Out Type [SPDIF]

- [SPDIF] S/PDIF端子からの出力信号を、S/PDIFモードで出力します。
[HDMI] S/PDIF端子からの出力信号を、HDMIモードで出力します。

Realtek LAN Controller [Enabled]

- [Enabled] Realtekギガビット・イーサネット・コントローラーを有効にします。
[Disabled] このコントローラーを無効にします。

Realtek PXE OPROM [Disabled]

この項目は前の項目を [Enabled] にすると表示され、Realtek ギガビット・イーサネット・コントローラーのオプションROMによる起動の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Serial Port Configuration

この項目は、マザーボードのシリアルポートの設定を行います。

Serial Port [Enabled]

シリアルポート (COM)の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Change Settings [Auto]

この項目は「**Serial Port**」を [Enabled] にすると表示され、シリアルポートベースアドレスを選択することができます。
設定オプション: [Auto] [IO=3F8h; IRQ=4] [IO=2F8h; IRQ=3] [IO=3E8h; IRQ=4]
[IO=2E8h; IRQ=3]

2.5.6 APM

Restore AC Power Loss [Power Off]

- [Power On] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源はONとなります。
- [Power Off] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源はOFFのままとなります。
- [Last State] 電力が遮断された場合、その後、通電したときは電源は遮断される直前の状態に戻ります。

Power On By PS/2 Keyboard [Disabled]

- [Disabled] PS/2 キーボードで電源をONにする機能を無効にします。
- [Space Bar] PS/2 キーボードのスペースキー (スペースバー) でシステムをONにします。
- [Ctrl-Esc] PS/2 キーボードの <Ctrl+Esc> でシステムをONにします。
- [Power Key] PS/2 キーボードのPower キーでシステムをONにします。この機能を利用するには、+5VSBリード線で最低1Aを供給するATX電源を必要とします。

Power On By PS/2 Mouse [Disabled]

- [Disabled] PS/2マウスで電源をONにする機能を無効にします。
- [Enabled] PS/2マウスで電源をONにする機能を有効にします。この機能を利用するには、+5VSBリード線で最低1Aを供給するATX電源を必要とします。

Power On By PME [Disabled]

- [Disabled] この機能を無効にします。
- [Enabled] オンボードLANデバイスおよびPCI/PCIE接続のLANまたはモデムカードによるPME信号受信のウェイクアップ機能を有効にします。この機能を利用するには、+5VSBリード線で最低1Aを供給するATX電源を必要とします。

Power On By Ring [Disabled]

- [Disabled] この機能を無効にします。
- [Enabled] 外部モデムが起動信号を受信した場合のウェイクアップ機能を有効にします。

Power On By RTC [Disabled]

- [Disabled] RTCによるウェイクアップ機能を無効にします。
- [Enabled] に設定すると、「RTC Alarm Date (Days)」と「Hour/Minute/Second」の項目がユーザー設定可能になります。

RTC Alarm Date (Days)

この項目は前の項目を[Enabled] にすると表示され、RTCアラームを実行する日付を設定します。数値を「0」に設定すると、RTCアラームは「毎日」に設定されます。数値の調節は <+> <-> で行います。

- Hour / - Minute / - Second

RTCアラームの時間を設定することができます。数値の調節は <+> <-> キーで行います。

2.5.7 Network Stack

Network Stack [Disable Link]

UEFIによるネットワーク接続機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disable Link] [Enabled]

Ipv4 PXE Support [Enabled]

この項目は「Network Stack」の項目を [Enabled] に設定すると表示されます。IPv4を使用したPXEによるネットワークブートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disable Link] [Enabled]

Ipv6 PXE Support [Enabled]

この項目は「Network Stack」の項目を [Enabled] に設定すると表示されます。IPv6を使用したPXEによるネットワークブートの有効/無効を設定します。

設定オプション: [Disable Link] [Enabled]

2.6 モニターメニュー

システム温度/電源の状態が表示されます。また、ファンの各種設定変更が可能です。



2.6.1 CPU Temperature / MB Temperature [xxx°C/xxx°F]

オンボードハードウェアモニターはAPUの温度とマザーボードの温度を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore]にすると、表示されなくなります。

2.6.2 CPU / Chassis fan Speed [xxxx RPM] or [Ignore] / [N/A]

オンボードハードウェアモニターは各ファンのスピードを自動検出し、RPMの単位で表示します。マザーボードにファンが接続されていない場合は、[N/A]と表示されます。なお、[Ignore]にすると、表示されなくなります。

2.6.3 CPU Q-Fan Control [Enabled]

[Disabled] この機能を無効にします。

[Enabled] CPUファンのQ-Fanコントロール機能を有効にします。

FAN Speed Low Limit [200 RPM]

この項目は「CPU Q-Fan Control」を有効にすると表示されます。CPUファンの最低回転数を設定します。CPUファンの回転数がこの値を下回ると警告が発せられます。

設定オプション: [Ignore] [200RPM] [300 RPM] [400 RPM] [500 RPM] [600 RPM]

Fan Profile [Standard]

この項目は「CPU Q-Fan Control」機能を有効にすると表示されます。CPUファンの最適なパフォーマンスレベルを設定できます。

[Standard] 温度により自動調整します。

[Silent] 常時低速回転で動作します。

[Turbo] 常時最高速回転で動作します。

[Manual] 温度とデューティサイクルを手動で設定します。



次の4つの項目は「Fan Profile」を [Manual] にすると表示されます。

CPU_FAN Upper Temperature [70°C]

APU温度の上限温度を設定します。APUの温度がこの上限値に達すると、CPUファンはデューティサイクルの最大値で動作します。

設定範囲は 20°~75°です。

CPU_FAN Max. Duty Cycle(%) [100%]

CPUファンのデューティサイクルの最大値を設定します。設定値は最小デューティサイクル以上である必要があります。

設定範囲は 40%~100%です。

CPU_FAN Lower Temperature [20°C]

APU温度の下限値を設定します。APUの温度がこの下限値を下回ると、CPUファンはデューティサイクルの最小値で動作します。設定値はCPU温度の上限値以下である必要があります。

設定範囲は 20°C~75°Cです。

CPU_FAN Min. Duty Cycle(%) [40%]

CPUファンのデューティサイクルの最小値を設定します。設定値は最大デューティサイクル以下である必要があります。

設定範囲は 40% ~100%です。

2.6.4 CPU Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage

オンボードハードウェアモニターは電圧レギュレータを通して電圧出力を自動検出しその値を表示します。なお、[Ignore] にすると、表示されなくなります。

2.6.5 Anti Surge Support [Auto]

アンチサージ機能の有効/無効を設定します。

設定オプション: [Auto] [Disabled] [Enabled]

2.7 ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。



画面をスクロールすることですべての項目を表示することができます。



2.7.1 Fast Boot [Enabled]

起動時の初期化作業を短縮し、システムを素早く起動するFast Boot機能の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]



次の4項目は「**Fast Boot**」の項目を **[Enabled]** に設定すると表示されます。

USB Support [Partial Initial]

- [Disabled] 全てのUSBデバイスはOSが実行されるまで無効状態となります。
- [Full Initial] 全てのUSBデバイスはシステム起動時から利用可能となります。
- [Partial Initial] 特定のUSBデバイス/ポートはOSが実行される前に有効状態となります。

PS/2 Keyboard and Mouse Support [Auto]

- [Auto] 起動時に接続されているPS/2デバイスをNVRAMに記憶し、起動時間を早くすることができます。前回の起動後からPS/2デバイスを交換または再接続をしていない場合は、システム起動時にPS/2デバイスを利用することができます。
- [Full Initial] PS/2デバイスはシステム起動時から利用可能となり、システムを完全にコントロールすることができます。この設定はPOSTに時間がかかります。
- [Disabled] 最も早くPOSTを完了することができます。PS/2デバイスはオペレーティングシステムが実行されるまで無効状態となります。PS/2デバイスでUEFI BIOS Utilityを起動または操作することはできません。

Network Stack Driver Support [Disabled]

- [Disabled] システム起動時のネットワークスタック用ドライバーの読み込みを無効にします。
- [Enabled] システム起動時のネットワークスタック用ドライバーの読み込みを有効にします。

Next boot after AC Power Loss [Normal Boot]

- [Normal Boot] 電力が遮断された場合、その後起動する際は通常の起動プロセスで開始します。
- [Fast Boot] 電力が遮断された場合、その後も継続してFast Bootモードで起動します。

2.7.2 Full Screen Logo [Enabled]

- [Enabled] システム起動時のASUSロゴ画面を表示します。
- [Disabled] システム起動時のASUSロゴ画面を表示しません。



ASUS MyLogo™ 機能をご利用になる場合は「**Full Screen Logo**」の項目を **[Enabled]** に設定してください。

Post Report [5 sec]

システムがPOSTのレポートを表示するまでの待ち時間を設定します。この項目は「**Full Screen Logo**」の項目を **[Disabled]** に表示すると表示されます。

設定オプション: [1 sec] [2 sec] [3 sec] [4 sec] [5 sec] [6 sec] [7 sec] [8 sec] [9 sec] [10 sec]
[Until Press ESC]

2.7.3 Post Delay Time [3 sec]

指定した遅延時間をPOSTプロセスに追加しUEFI BIOS Utilityの起動受付時間を延長します。この機能は「Full Screen Logo」が[Enabled]の場合にのみ設定可能です。

設定オプション:[0 sec] ~ [10 sec]

2.7.4 Bootup NumLock State [On]

[On] システム電源ON時、キーボードのNumLock 機能をONにします。

[OFF] システム電源ON時、キーボードのNumLock 機能はOFFの状態です。

2.7.5 Wait for 'F1' If Error [Enabled]

[Enabled]にすると、POSTエラー発生時に<F 1 >を押すまでシステムを待機させます。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

2.7.6 Option ROM Messages [Force BIOS]

[Force BIOS] サードパーティのROMメッセージをブートシーケンス時に強制的に表示させます。

[Keep Current] アドオンデバイスの設定に従い、サードパーティROMメッセージを表示させます。

2.7.7 Setup Mode [EZ Mode]

[Advanced Mode] UEFI BIOS Utility 起動時の初期画面として、Advanced Mode を表示します。

[EZ Mode] UEFI BIOS Utility 起動時の初期画面として、EZ Mode を表示します。

2.7.8 CSM Parameters

CSM (Compatibility Support Module) の制御方法を設定します。

Launch CSM [Auto]

設定オプション:[Auto] [Enabled] [Disabled]



次の4項目は、「Launch CSM」を[Enabled]に設定することで表示されます。

Boot Device Control [UEFI and Legacy OpROM]

設定オプション:[UEFI and Legacy OpRom] [Legacy OpROM only] [UEFI only]

Boot from Network Devices [Legacy OpROM first]

設定オプション:[Legacy OpROM first] [UEFI driver first] [Ignore]

Boot from Storage Devices [Legacy OpRom first]

設定オプション:[Both, Legacy OpROM first] [Both, UEFI driver first]
[Legacy OpROM first] [UEFI driver first] [Ignore]

Boot from PCIe/PCI Expansion Devices [Legacy OpROM first]

設定オプション:[Legacy OpROM first] [UEFI driver first]

2.7.9 Secure Boot

システム起動時に許可されていないファームウェア、オペレーティングシステム、UEFIドライバー（オプションROM）が実行されないようにするWindows® のSecure Bootに関する設定を行うことができます。

OS Type [Other OS]

設定オプション: [Windows UEFI mode] [Other OS]

Secure Boot Mode [Standard]

この項目は「OS Type」の項目を [Windows 8 UEFI] に設定すると表示されます。

設定オプション: [Standard] [Custom]



次の項目は **Secure Boot Mode**」の項目を [Custom] に設定すると表示されます。

Key Management

Manage the Secure Boot Keys (PK, KEK, DB, DBX)

Install default Secure Boot Keys

設定オプション: [Yes] [No]

Platform Key (PK)

Load PK from File

設定オプション: [Acpi (a0341d0, 0)\PCI (1212)\USB (2, 0)\

Copy PK to File

設定オプション: [OK]

Delete the PK

設定オプション: [Yes] [No]

KEK Management (KEK)

Load KEK from File

設定オプション: [OK]

Copy KEK to File

設定オプション: [OK]

Delete the KEK

設定オプション: [Yes] [No]

Append KEK from File

設定オプション: [OK]

DB Management

Load DB from File

設定オプション: [OK]

Copy DB to File

設定オプション: [OK]

Delete the DB

設定オプション: [Yes] [No]

Append DB from File

設定オプション: [OK]

DBX Management

Load DBX from File

設定オプション: [OK]

Copy DBX to File

設定オプション: [OK]

Delete the DBX

設定オプション: [Yes] [No]

Append DBX from File

設定オプション: [OK]

2.7.10 Boot Option Priorities

使用可能なデバイスから、ブートデバイスの起動優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数に依存します。



- システム起動中にブートデバイスを選択するには、POST時に<F8>を押します。
- セーフモードでWindows®OSを起動するには、POSTの後<F8>を押します。ブートデバイスの選択画面が表示されてしまう場合は、ブートデバイスの選択画面で<ESC>を押した後にすばやく<F8>を押すことで詳細ブートオプションを起動することが可能です。

2.7.11 Boot Override

ブートデバイスを選択し起動します。画面に表示されるデバイスの項目の数は、システムに接続されたデバイスにより異なります。項目(デバイス)を選択すると、選択したデバイスからシステムを起動します。

2.8 ツールメニュー

ASUS独自機能の設定をします。マウスで項目を選択するか、キーボードのカーソルキーで項目を選択し、<Enter>を押してサブメニューを表示させることができます。



2.8.1 ASUS EZ Flash 2 Utility

ASUS EZ Flash 2 Utility を起動します。<Enter>を押すと、確認メッセージが表示されます。カーソルキーを使って [Yes] または [No] を選択し <Enter> を押し、選択を決定します。



詳細はセクション「2.1.2 ASUS EZ Flash 2 Utility」をご参照ください。

2.8.2 ASUS SPD Information

DIMM Slot # [DIMM_A1]

選択されたスロットに取り付けられたメモリーのSPD (Displays the Serial Presence Detect) 情報を表示します。

設定オプション: [DIMM_A1] [DIMM_B1]

2.8.3 ASUS O.C. Profile

複数のBIOS設定を保存して簡単に呼び出すことができます。



プロファイルが作成されていない場合、「Setup Profile Status」には「Not Installed」と表示されます。

Label

保存するプロファイルのタイトルを入力します。

Save to Profile

現在の設定をプロファイルとして保存します。キーボードで1から8の数字を入力しプロファイル番号を割り当て、<Enter>を押し「Yes」を選択します。

Load from Profile

保存したプロファイルから設定を読み込みます。プロファイルの番号をキーボードで入力し、<Enter>を押し「Yes」を選択します。



- 設定をロード中はシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。
- 設定をロードする場合は、保存された設定の構成時と同一のハードウェア (CPU、メモリーなど) とBIOSバージョンでのご使用をお勧めします。異なったハードウェアやBIOSバージョン設定をロードすると、システム起動エラーやハードウェアが故障する可能性があります。

2.9 終了メニュー

設定の保存や取り消しのほか、デフォルト設定の読み込みを行います。終了メニューから **EZ Mode** を起動することができます



Load Optimized Defaults

それぞれの値に、デフォルト設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5> を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択してデフォルト設定値をロードします。

Save Changes & Reset

設定が終了したら、「**Exit**」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAMに保存して終了します。このオプションを選択するか、<F10>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択して、設定変更を保存し、UEFI BIOS Utility を閉じます。

Discard Changes & Exit

UEFI BIOS Utility で行った設定を破棄し、セットアップを終了する場合にこの項目を選択します。このオプションを選択するか、<Esc>を押すと確認画面が表示されます。「**YES**」を選択して、設定変更を保存せずに、UEFI BIOS Utility を閉じます。

ASUS EZ Mode

EZ Mode を起動します。

Launch EFI Shell from filesystem device

EFI Shell アプリケーション (shellx64.efi) を利用可能なファイルシステムのデバイスから起動します。

ご注意

Federal Communications Commission Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

IC: Canadian Compliance Statement

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. This device complies with RSS 210 of Industry Canada. This Class B device meets all the requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

This device complies with Industry Canada license exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Cet appareil numérique de la Classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Cet appareil numérique de la Classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Cet appareil est conforme aux normes CNR exemptes de licence d'Industrie Canada. Le fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes :

- (1) cet appareil ne doit pas provoquer d'interférences et
- (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris celles susceptibles de provoquer un fonctionnement non souhaité de l'appareil.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

VCCI: Japan Compliance Statement

警告 VCCI準拠クラスB機器(日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

KC: Korea Warning Statement

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

*당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.



DO NOT throw the motherboard in municipal waste. This product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the product (electrical and electronic equipment) should not be placed in municipal waste. Check local regulations for disposal of electronic products.



DO NOT throw the mercury-containing button cell battery in municipal waste. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the battery should not be placed in municipal waste.

ASUS Recycling/Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components as well as the packaging materials. Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for detailed recycling information in different regions.

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 15 Li-Te Road, Beitou, Taipei, Taiwan 11259
電話(代表): +886-2-2894-3447
ファックス(代表): +886-2-2890-7798
電子メール(代表): info@asus.com.tw
Webサイト: www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話: +86-21-3842-9911
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話: +1-510-739-3777
ファックス: +1-510-608-4555
Webサイト: http://usa.asus.com

テクニカルサポート

電話: +1-812-282-2787
サポートファックス: +1-812-284-0883
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ・オーストリア)

住所: Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
電話: +49-2102-95990
ファックス: +49-2102-959911
Webサイト: www.asus.de
オンラインコンタクト: www.asus.de/sales

テクニカルサポート

電話: +49-1805-010923*
サポートファックス: +49-2102-9599-11*
オンラインサポート: support.asus.com

* ドイツ国内の固定電話からは0.14ユーロ/分、携帯電話からは0.42ユーロ/分の通話料がかかります。

Manufacturer:	ASUSTeK Computer Inc.
Address:	4F, No.150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised representative in Europe:	ASUS Computer GmbH
Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2, Section 2.1077(a)



Responsible Party Name: **Asus Computer International**

Address: **800 Corporate Way, Fremont, CA 94539,**

Phone/Fax No: **(510)390-3777/(510)608-4555**

hereby declares that the product

Product Name :Motherboard

Model Number :F2A55-M LK2 PLUS, F2A55-M LK2

Conforms to the following specifications:

- FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

Signature : Steve Chang
Date : Nov. 21, 2012

Ver: 120601

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer: **ASUSTeK COMPUTER INC.**
Address: **4F, No. 150, LITE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C.**
Country: **TAIWAN**
Authorized representative in Europe: **ASUS COMPUTER GmbH**
Address: **PARROCK STR. 21-23, 40809 RATINGEN**
Country: **GERMANY**

declare the following apparatus:

Product name :

Model name : **F2A55-M LK2 PLUS, F2A55-M LK2**

conform with the essential requirements of the following directives:

§2004/109/EC EMC Directive

- EN 55022:2010
- EN 61000-3-2:2006+A2:2009
- EN 61000-3-3:2008
- EN 55020:2007+A1:2011

1999/5/EC R. & TTE Directive

- EN 300 328 V1.7 (10/06/10)
- EN 300 328 V1.8 (10/06/10)
- EN 300 440-2 V1.4 (10/10/08)
- EN 300 440-2 V1.5 (10/10/08)
- EN 301 511 V0.0 (20/03/03)
- EN 301 488-7 V1.3 (12/05/11)
- EN 301 488-7 V1.4 (12/05/11)
- EN 301 808-2 V5.2 (10/11/07)
- EN 301 808-2 V5.3 (10/11/07)
- EN 301 893 V1.6 (10/11/11)
- EN 301 488-2 V1.5 (12/01/09)
- EN 301 488-2 V1.6 (12/01/09)
- EN 300 323 V1.1 (10/09/01)
- EN 300 323 V1.2 (10/09/01)
- EN 300 330-2 V1.5 (10/10/02)
- EN 300 330-2 V1.6 (10/10/02)
- EN 62479:2010

§2006/95/EC LVD Directive

- EN 60950-1 / A11:2009
- EN 60065:2002 / A2:2010
- EN 60950-1 / A12:2011
- EN 60065:2002 / A12:2011

2009/125/EC ErP Directive

- Regulation (EC) No. 1275/2008
- Regulation (EC) No. 642/2009

2011/65/EU RoHS Directive

- Regulation (EC) No. 279/2009

Ver: 121001



(EC conformity marking)

Position : **CEO**
Name : **Jerry Shei**

Declaration Date: **Nov. 21, 2012**
Year to begin affixing CE marking: **2012**

Signature : _____